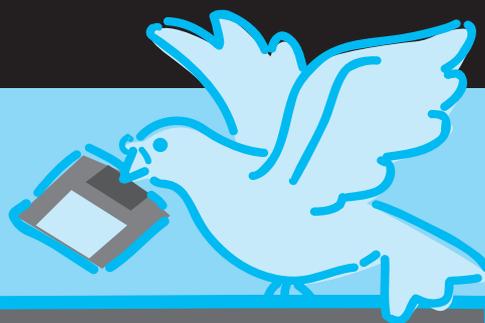




ミュージック データ プレーヤー

MDP-20XG

取扱説明書



YAMAHA
MUSIC DATA
PLAYER

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願い致します。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

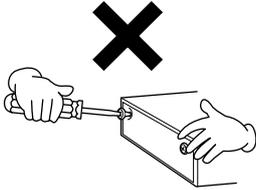
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、必ず指定のもの(PA-5C)を使用する。

(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。



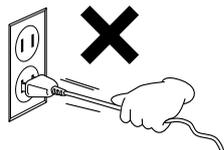
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。

電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。



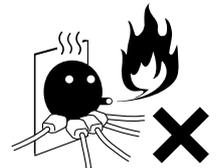
電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。



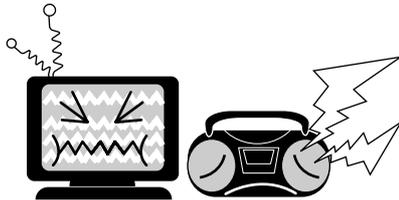
他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。



本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体のパネルが変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が転倒し破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



指定の取り付け金具以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

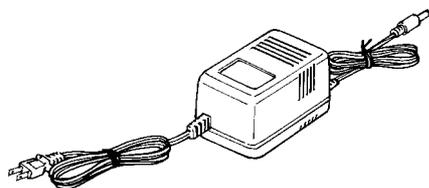
このたびは、ヤマハミュージック データ プレーヤー MDP-20XGをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。

MDP-20XGは、エレクトーンと接続して、^{ジュークボックス}GM、XGなど幅広い種類の別売ディスクソフト(曲データのディスク)を簡単操作で再生できる、ミュージック データ プレーヤーです。また、MDP-20XGの【TO HOST】^{トウ ホスト}端子を使ってコンピューターと接続し、コンピューターミュージックを楽しむこともできます。

MDP-20XGの優れた機能を十分お楽しみいただくために、本書をご活用いただきますようご案内申し上げます。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してくださいませよう、お願い申し上げます。

付属品 (お確かめください)

電源アダプター PA-5C

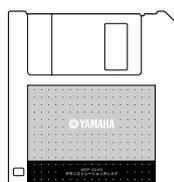


ご愛用者カード



MDP-20XGデモンストレーションディスク

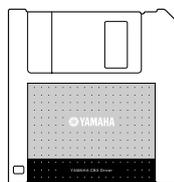
MDP-20XGでお楽しみいただける12曲のデータを収録したデモディスクです。



取扱説明書(本書)

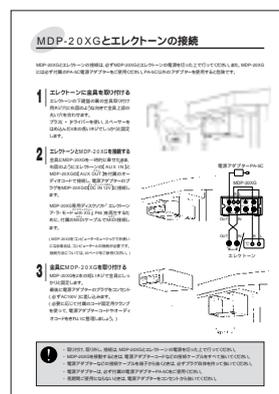


YAMAHA CBX Driver ディスク

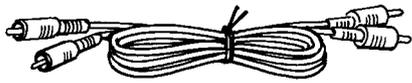


「MDP-20XGとエレクトーンの接続」説明チラシ

保証書

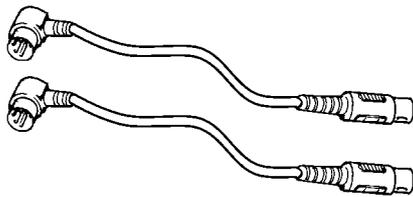


オーディオコード

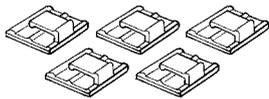


ミディ MIDIケーブル(2本)

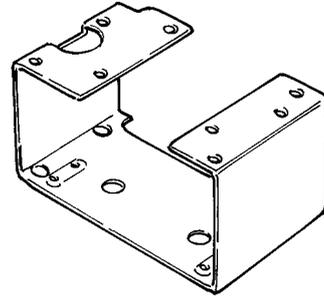
MDP-20XGとエレクトーンをミディ接続するためのケーブルです。



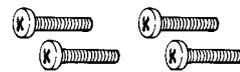
コード固定用クランプ(5個)



取り付け金具



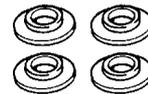
長いネジ(4本)



短いネジ(2本)



スペーサー(4個)



MDP-20XGでこんなことができます

ディスクソフトの再生

「GMソフト」^{ジーエム}「XGソフト」^{エックスジー}などをはじめとする幅広い種類の別売ディスクソフト(曲データのディスク)を簡単操作で再生できます。(P12)

ソフトを再生しながらエレクトーンでアン サンプル演奏

MDP-20XGで曲データの伴奏パートだけ再生しながら、メロディパートをエレクトーンでご自身で演奏して、アンサンプル演奏を楽しむことができます。(P14)

ソフトの曲の練習

- ・ 上鍵盤/下鍵盤/ペダルパートや右手/左手パートが別々のトラックに入っているディスクソフトを使うと、練習したいパートの再生をOFFにして、エレクトーンでパート練習することができます。(P31)
- ・ 曲中のフレーズを設定して繰り返し再生できるので、練習したい部分を集中して練習することができます。(P16)
- ・ 練習に便利な「チューニング」(P29)「テンポの調節」(P28)「カウントイン」(P34)「メロノーム」(P35)機能が付いています。

取扱説明書(本書)はこんなふうにお役に立ちます

この本は、「準備」「クイックガイド」「リファレンス編」「付録」の4部構成になっています。

準備 最初にお読みください。

クイックガイド 「クイックガイド」でMDP-20XGの主な使い方がわかりいただけます。
付属のMDP-20XGデモンストレーションディスクを使って、再生と、ソフトの曲の練習方法を説明します。簡単な操作でお楽しみいただけますので、ぜひお試しください。

リファレンス編 各機能を詳しく説明しています。より詳しくお知りになりたいときにご覧ください。
欄外コラムの(?)。マークの説明は、本文の説明どおりにならないなど、おかしいな?と思ったときにご覧ください。

付録 ディスクソフトのご紹介や、必要に応じてご利用いただける資料を掲載しています。

表記上の決まり

ボタンなどの表記

【 】 MDP-20XG本体のボタン類を示します。この場合、ボタン、ジャック(端子)といった言葉は省略します。たとえば、「再生」のボタンは、文章中で【再生】と表記します。

本書では、以下に示すような矢印を使って操作の結果と手順を区別しています。



⇨ の操作を行った結果、 の状態になることを示しています。
(操作の結果を示します。)



➡ の操作を行ったあと、 の操作を示しています。
(操作の手順を示します。)

「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

目次

準備

安全上のご注意	2
付属品(お確かめください)	4
MDP-20XGでこんなことができます	5
取扱説明書(本書)はこんなふうにお役に立ちます	6
フロッピーディスクの取り扱い	8
MDP-20XGとエレクトーンの接続	9
ご使用前の準備	10

クイックガイド

MDP-20XGデモンストレーションディスクの曲目リスト	11
再生してみましょう	12
ソフトの曲を練習してみましょう	14
メロディパート(メインパート)を自分で演奏する	14
繰り返し練習をする	16
カラオケで歌ってみましょう	18

リファレンス編

各部の名前	20
共通操作	22
ディスプレイの見方	22
設定【- /NO】+ /YES】の操作について	23
設定の記憶について	24
再生の基本操作	25
再生の基本手順	25
テンポの調節	28
【巻戻し】早送り【一時停止】	28
ソフトの曲の練習に便利な機能	29
チューニング	29
トラックごとの再生ON/OFF	31
マークとジャンプ/繰り返し再生	31
カウントイン	34
メロノーム	35
その他の機能	37
移調	37
ディスクのフォーマット	38
パーソナルコンピュータとの接続	40
エラーメッセージ一覧	43
故障かな?と思ったら	44

付録

MDP-20XGで再生できるディスクソフトについて	45
MDP-20XGで再生できる	
ディスクソフトの各種フォーマット	45
MDP-20XGで再生できる	
主なヤマハ別売ディスクソフトのご紹介	46
MIDIインプリメンテーションチャート	47
仕様	48
索引	49
保証とアフターサービス	50

準

備

クイックガイド

リファレンス編

付

録

フロッピーディスクの取り扱い

付属の「MDP-20XGデモンストレーションディスク」をはじめ、MDP-20XGで再生できるディスクは「フロッピーディスク」という種類のディスクです。フロッピーディスクは、扱いかたを間違えると記録したデータを失いかねません。

フロッピーディスクとディスクドライブユニットをご愛用いただくために、ご使用時には以下のことをお守りください。

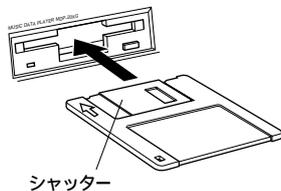
フロッピーディスクの種類

- この製品には、「3.5インチ2DDまたは2HDマイクロフロッピーディスク」をご使用ください。

フロッピーディスクの挿入/取り出し

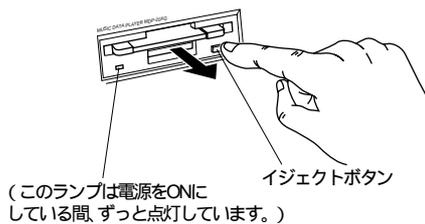
フロッピーディスクの入れかた

- フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、イラストのように、ディスク挿入口にカチッと音がするまで正しく差し込みます。



フロッピーディスクをディスク挿入口から取り出すときのご注意

- イジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出了ことを確認してから取り出してください。



- イジェクトボタンを中途半端に押したり、あわてて押すと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合があります。この場合、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたりディスクドライブユニットが故障したりする原因になります。このような場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、もう一度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。

フォーマット中や再生中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスクのデータがこわれるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。

電源を切るときは、フロッピーディスクをあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切った後、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ディスクドライブユニットは、高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れてくると、録音や再生(データの書き込みや読み取り)にエラーが生じることがあります。
- ディスクドライブユニットを良い状態でお使いいただくために、磁気ヘッドを定期的に(1か月に1回程度)クリーニングしていただくことをお勧めします。
- 磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、ヤマハ推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

フロッピーディスクについてのご注意

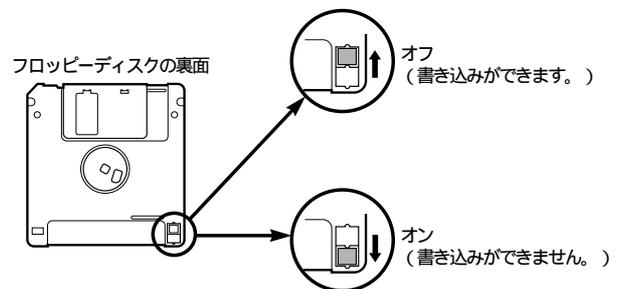
フロッピーディスクの取り扱いと保管

フロッピーディスクの中にはデータを記録する磁性体が入っています。磁性体を保護し、さらにディスクドライブユニットの磁気ヘッドを保護するために、以下の点にご注意ください。

- (持ち運ぶ場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落としたり、物を乗せたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やホコリなどが入らないようにしてください。
- ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- 磁気を帯びた物(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- 直射日光の当たる場所や、過度に高温/低温の場所、多湿な場所などに置かないでください。
- シャッターやディスク本体が変形しているようなフロッピーディスクは、絶対に使用しないでください。
- フロッピーディスクには、ラベル以外の物(メモなど)を貼らないでください。また、ラベルは所定の位置に、はがれないようにしっかりと貼ってください。

誤消去防止

フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまうことがないように、ライトプロテクトタブが付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして書き込みができないようにしてください。



市販のフロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をお確かめのうえ、お求めください。

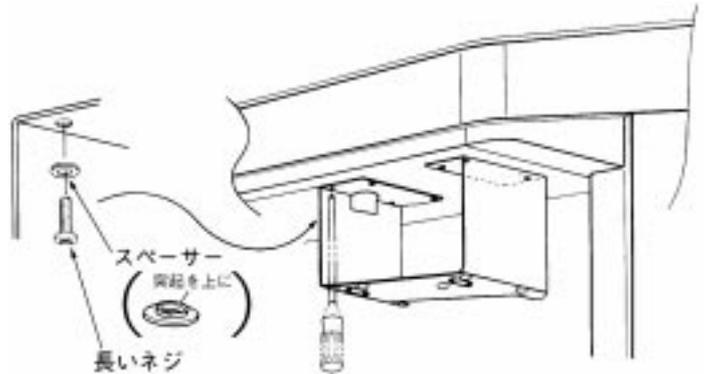
MDP-20XGとエレクトーンとの接続

MDP-20XGとエレクトーンとの接続は、必ずMDP-20XGとエレクトーンの電源を切った上で行ってください。また、MDP-20XGには必ず付属のPA-5C電源アダプターをご使用ください。PA-5C以外のアダプターを使用すると危険です。

1 エレクトーンに金具を取り付ける

エレクトーンの下鍵盤の裏の金具取り付け用ネジ穴に右図のような向きで金具上部の丸い穴を合わせます。

プラス (+) ドライバーを使い、スペーサーをはめ込んだ4本の長いネジでしっかりと固定します。

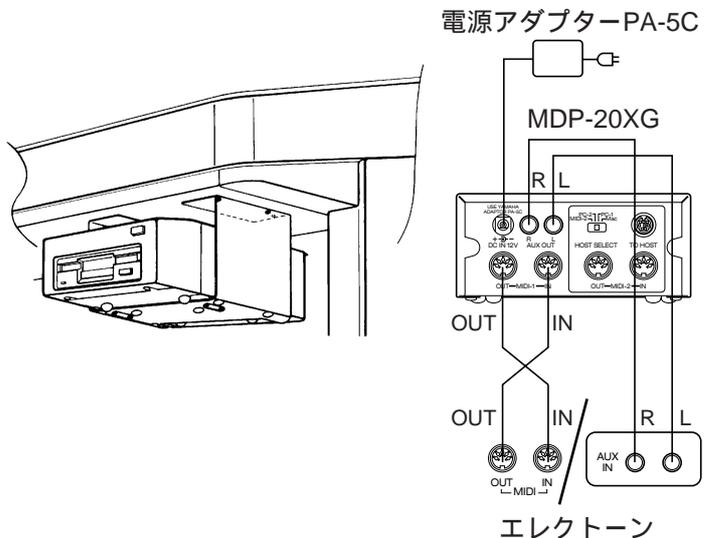


2 エレクトーンとMDP-20XGを接続する

金具にMDP-20XGを一時的に乗せたまま、右図のようにエレクトーンの【AUX IN^{イン}】とMDP-20XGの【AUX OUT^{アウト}】を付属のオーディオコードで接続し、電源アダプターのプラグをMDP-20XGの【DC IN 12V】に接続します。

MDP-20XG専用ディスクソフト「エレクトーン ウィズエクスジェア・ラ・モード with XG (P46)」を再生するために、付属のMIDIケーブルでMIDI接続します。

(MDP-20XGをコンピューターミュージックでお使いになる場合は、コンピューターとの接続が必要です。接続方法については、40ページをご参照ください。)

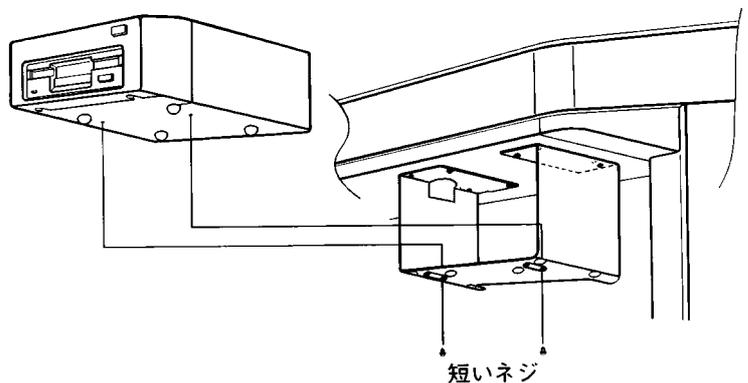


3 金具にMDP-20XGを取り付ける

MDP-20XGを2本の短いネジで金具にしっかりと固定します。

最後に電源アダプターのプラグをコンセント(必ずAC100V)に差し込みます。

(必要に応じて付属のコード固定用クランプを使って、電源アダプターコードやオーディオコードをきれいに整理しましょう。)



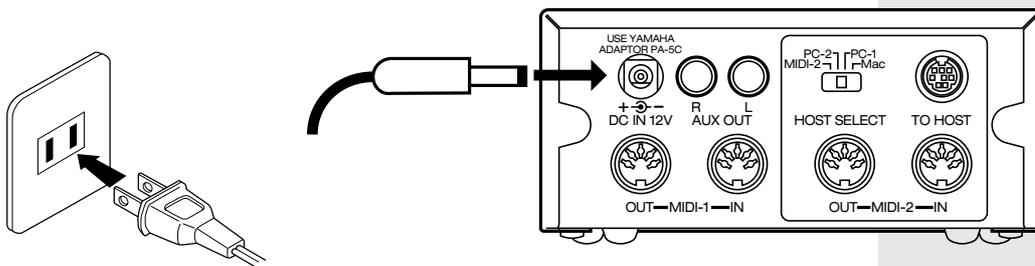
- ・ 取り付け、取り外し、接続は、MDP-20XGとエレクトーンの電源を切った上で行ってください。
- ・ MDP-20XGを移動するときは、電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて抜いてください。
- ・ 電源アダプターなどの接続ケーブルを端子から抜くときは、必ずプラグ自体を持って抜いてください。
- ・ 電源アダプターは、必ず付属の電源アダプターPA-5Cをご使用ください。
- ・ 長期間ご使用にならないときは、電源アダプターをコンセントから抜いてください。

ご使用前の準備

電源を入れる

1 電源アダプターの接続を確認する

電源アダプターのプラグが、本体リアパネルの【DC IN 12V】と、家庭のコンセント(家庭用AC100V)に接続されていることを確認してください。



2 電源を入れる

【電源】を押します。

⇒ 電源が入ります。ディスプレイに表示が現れます。

電源を切るときは、もう一度【電源】を押します。

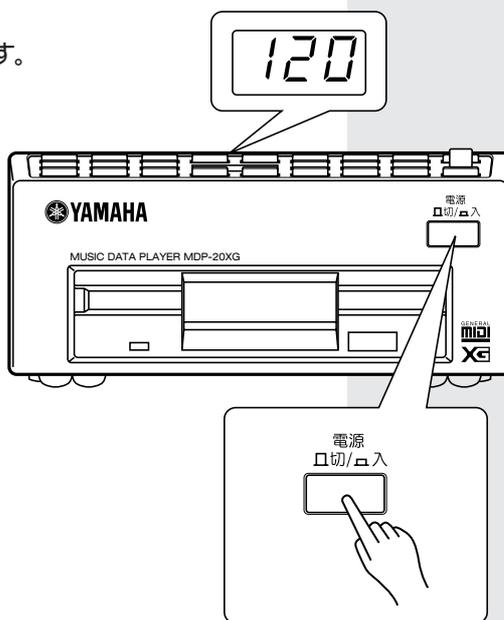
⇒ ディスプレイの表示が消えます。

! MDP-20XGとエレクトーンの両方の電源を入れたり切ったりする場合は、下記の順序で行ってください。

電源を入れる場合: MDP-20XG エレクトーン

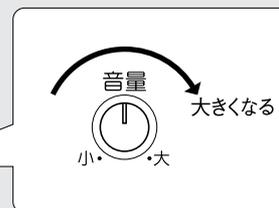
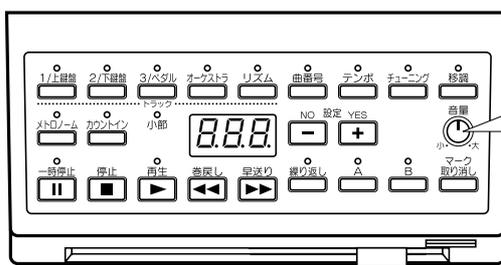
電源を切る場合: エレクトーン MDP-20XG

! 電源を入れたり切ったりする前に、必ずMDP-20XGとエレクトーンの音量を最小にしてください。



音量調節

MDP-20XGの【音量】とエレクトーン側のボリュームで調節してください。



クイックガイド

「クイックガイド」でMDP-20XGの主な使い方がわかりいただけます。

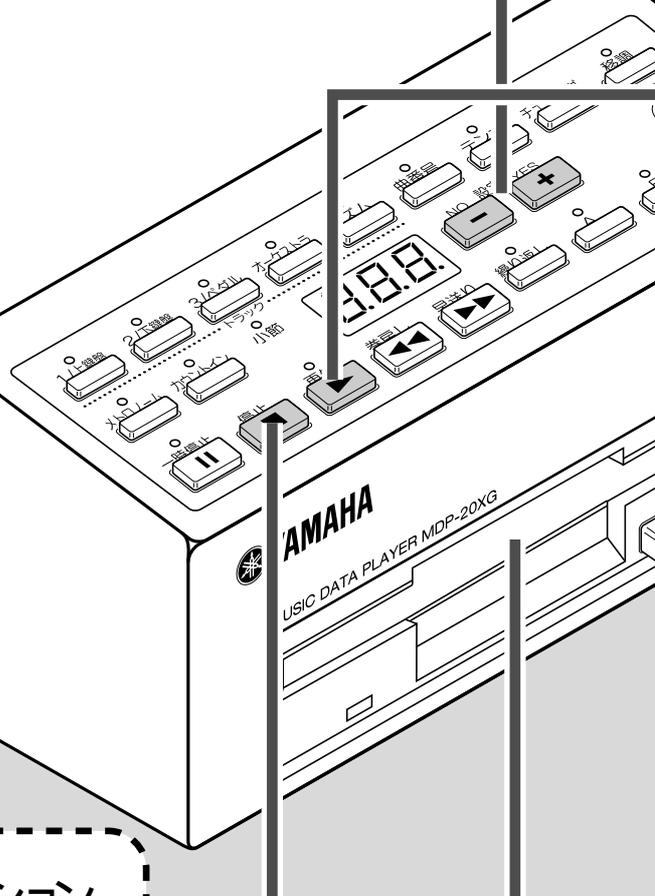
付属のMDP-20XG デモンストレーションディスクを使って、再生と、ソフトの曲の練習方法を説明します。簡単な操作でお楽しみいただけますので、ぜひお試しください。

より詳しくお知りになりたいときに「リファレンス編」をご覧ください。

MDP-20XGデモンストレーションディスクの曲目リスト

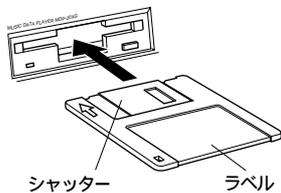
- | | | | |
|---|--------------------|----|------------------|
| 1 | Moanin' | 7 | ジュラシック・パークのテーマ |
| 2 | St. Thomas | 8 | いい日旅立ち |
| 3 | TRUTH | 9 | 雪國 |
| 4 | Mrs. Robinson | 10 | 未来予想図 |
| 5 | CAN YOU CELEBRATE? | 11 | Change The World |
| 6 | Peace! | 12 | となりのトトロ |

再生して
みましょう



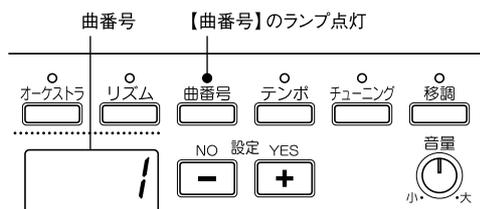
1

MDP-20XGデモンストレーション ディスクを入れる



ラベルが貼ってある面を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまでいねいに差し込みましょう。

⇒ ディスプレイが自動的に曲番号表示に切り替わる。



2

設定【- /NO】^{ノー}【+ /YES】^{イエス}で、再生する曲番号を選ぶ

(【曲番号】のランプが点灯していない場合は【曲番号】を押してから)

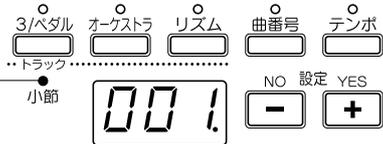
- 「ALL」^{オール}を選ぶと.....曲順どおりの連続再生。
- 「rnd」^{ランダム}を選ぶと.....順不同の連続再生。

3

【再生】を押して、再生スタート

⇒ディスプレイが自動的に
小節表示に切り替わる。

「小節」のランプ点灯

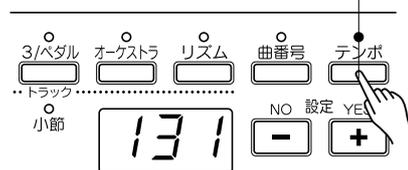


MDP-20XGの【音量】とエレクトーンの
ボリュームで音量を調節する。

テンポの調節

【テンポ】を押すと、ディスプレイがテンポ表示に
切り替わる。

テンポのランプ点灯



⇒設定【- /NO】^{ノー}【+ /YES】^{イエス}でテンポ
を調節する。

- ・設定【- /NO】^{ノー}と【+ /YES】^{イエス}を同時に押すと、その曲の元のテンポに戻る。

ディスプレイを小節表示に戻す場合

再度【テンポ】を押すと、「小節」のランプが点灯して小節表示に戻る。

ディスプレイの切り替え

4つのボタン【曲番号】【テンポ】【チューニング】
【移調】で切り替える。

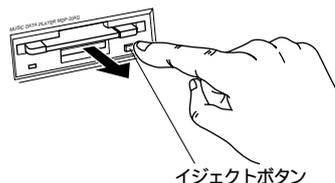
【巻戻し】【早送り】【一時停止】もできる。

4

【停止】を押して、再生ストップ

5

ディスクを使い終わったら、 イジェクトボタンを押して ディスクを抜く



イジェクトボタン

ソフトの曲を
練習してみましょ

MDP-20XGデモンストレーションディスクがディスクドライブに差し込まれていることを確認して、以下の使い方をお試しください。

使い方によって合わない曲もありますので、お勧め曲を参考にしてください。

メロディパート(メインパート) を自分で演奏する

お勧め曲:3、4、5、6、8、9、10、11、12

2 メロディパート(メインパート)のボタン
(上記お勧め曲の場合は【1/上鍵盤】)を
押して再生をOFFにする

⇨ 押したボタンのランプが消灯。

(ボタンを押すごとに再生ON/OFFが切り替わる⇨ランプ点灯/消灯)

エレクトーンの上鍵盤で、メロディパート(メインパート)の音色を選んでください。

1

設定【- /^{ノー}NO】【+ /^{イエス}YES】で、
曲番号を選ぶ

(【曲番号】のランプが点灯していない場合は
【曲番号】を押してから)

ノート

再生音とエレクトーンの音程が合わない場合は「チューニング」(P29)を参照して音程を合わせてください。

ヒント

演奏に先だって、メロディパート(メインパート)だけ再生ONにして、聞いてみることもできます。

3

【再生】を押して、
再生スタート

➡ メロディパート(メインパート)をエレクトーンで演奏してください。

P13の操作 3 の方法でテンポの調節もできます。

4

【停止】を押して、
再生ストップ

ソフの曲を
練習してみましょう

繰り返し練習をする

お勧め曲:全曲

4 終わったら【繰り返し】
を再度押して、繰り返
し再生を解除

⇒【繰り返し】のランプが消灯し、繰
り返しが解除されます。

ノート

再生音とエレクトーンの音程が
合わない場合は、「チューニング」
(P29)を参照して音程を合わせ
てください。

1

設定【- / ^{ノー}NO】【+ / ^{イエス}YES】で、曲番号を
選ぶ(「^{オール}ALL」「^{ランダム}rnd」以外)

(【曲番号】のランプが点灯していない場合は【曲番号】を押してから)

2

曲を再生しながら、繰り返しを始
める位置で【A】を、繰り返しを
終わる位置で【B】を押す

⇨【A】【B】のランプ点灯。

3

【繰り返し】を押して、
繰り返し再生スタート

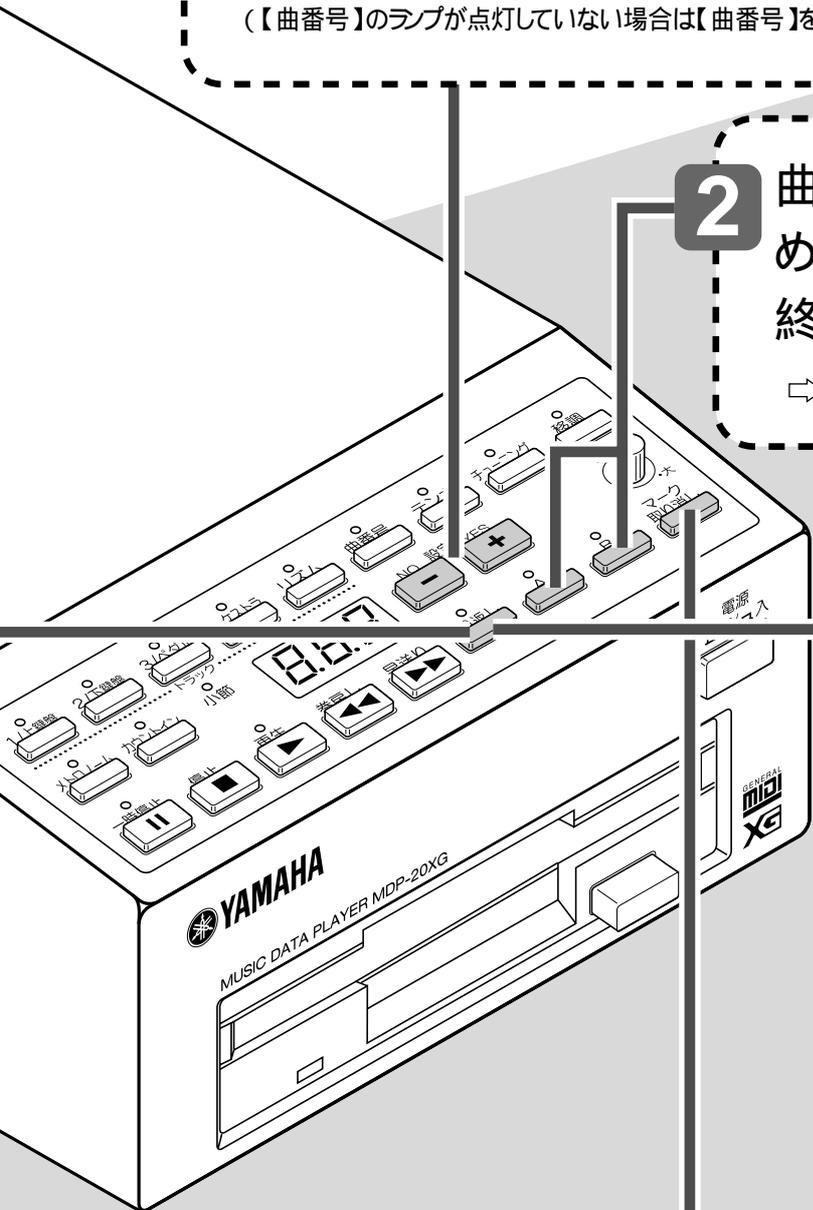
⇨【繰り返し】のランプ点灯

➡ 練習したいパートの再生をOFFにして、
繰り返し練習をしてください。
その後、通常の再生、停止操作で
繰り返し再生をスタート/ストップで
きます。

5

【マーク取り消し】を
押してマークを解除

⇨【A】【B】のランプ消灯。



カラオケで歌ってみましょう

エレクtoonにマイク端子がある場合は、マイクを接続して楽しむこともできます。

カラオケで歌う

お勧め曲:4、5、6、8、9、10、11、12
(歌詞カードは付属していません)

2 メロディパートのボタンを押して再生をOFFにする

お勧め曲では【1/上鍵盤】だけOFF。

⇒ 押したボタンのランプが消灯。

(ボタンを押すごとに再生ON/OFFが切り替わる⇒ランプ点灯/消灯)

ヒント

歌いやすいキーに変えることができます。

【移調】を押す。
設定【- /NO】【+ /YES】で
キーを上下する。

再度【移調】を押して終了。

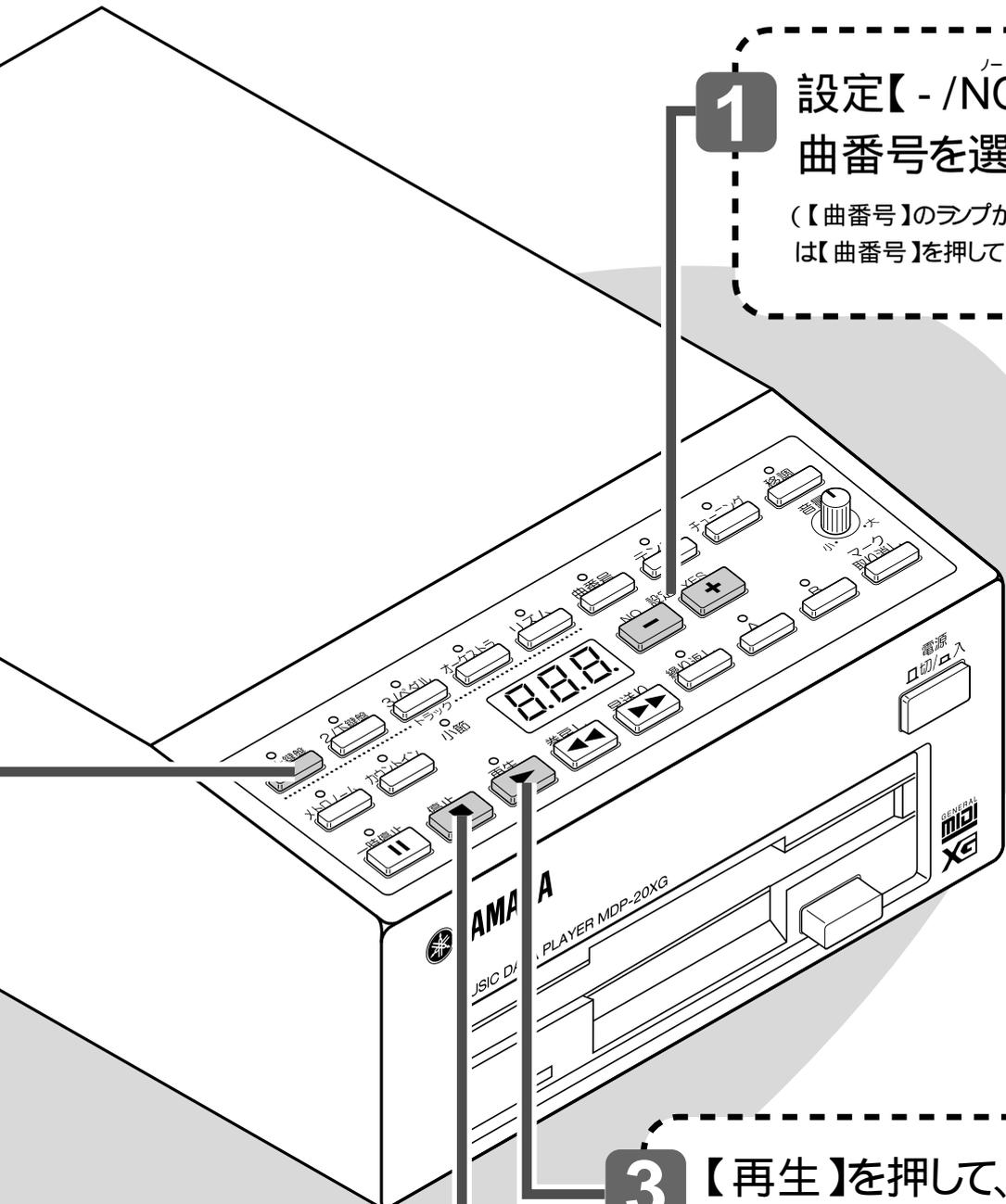
いかがでしたか？

それでは、お好きなディスクソフトでご自由に

1

設定【- / ^{ノー}NO】【+ / ^{イエス}YES】で
曲番号を選ぶ

(【曲番号】のランプが点灯していない場合は【曲番号】を押してから)



3

【再生】を押して、再生スタート

➡ 再生に合わせて歌ってください。

4

【停止】を押して、
再生ストップ

お楽しみください。

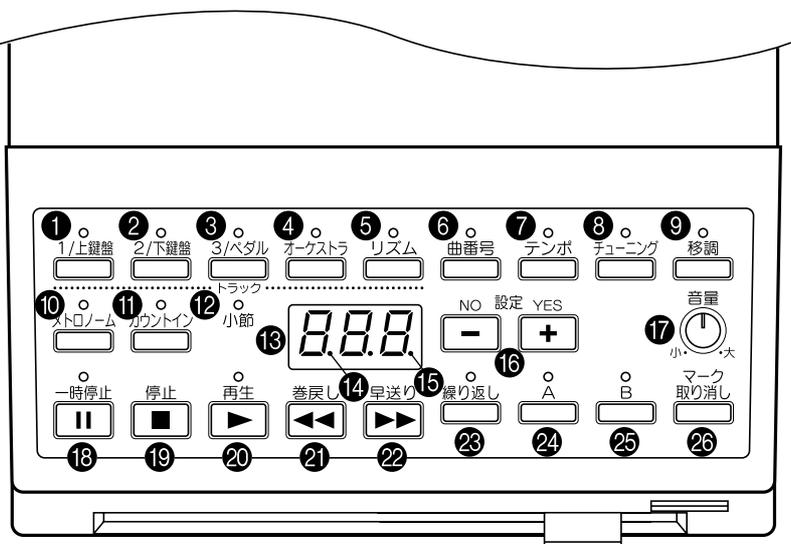
そのほか、練習に便利な、「カウントイン」(P34)、
「メトロノーム」(P35) 先ご利用ください。

リファレンス編

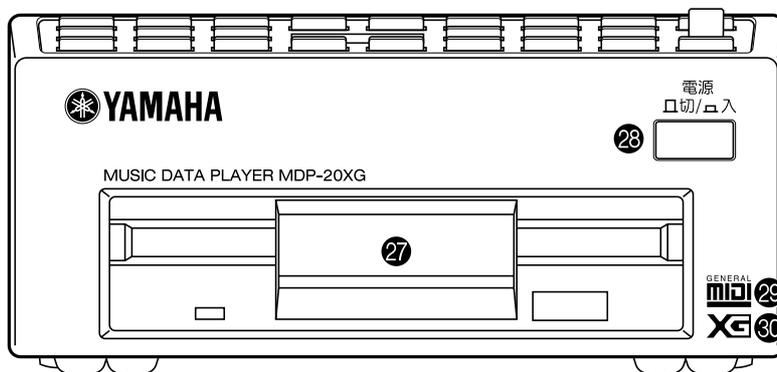
各機能を詳しく説明しています。より詳しくお知りになりたいときに「リファレンス編」をご覧ください。
欄外コラムの②.マークの説明は、本文の説明どおりにならないなど、おかしいな?と思ったときにご覧ください。

各部の名前

トップパネル



フロントパネル





②⑨ 「GM(^{ジーエム}ジェネラル^{ミディ}MIDI)規格」のマークです。MDP-20XGが「GM(^{ジーエム}ジェネラル^{ミディ}MIDI)規格」準拠のディスクソフトを再生できることを示しています。「GM規格」についての説明はP45をご参照ください。



③⑩ 「XGフォーマット」のマークです。MDP-20XGが「XGフォーマット」準拠のディスクソフトを再生できることを示しています。「XGフォーマット」についての説明はP45をご参照ください。

トップパネル

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| ① 【1/上鍵盤】 P31 | ⑭ 再生準備中ランプ P24 |
| ② 【2/下鍵盤】 P31 | ⑮ 拍子ランプ P28 |
| ③ 【3/ペダル】 P31 | ⑯ 設定【 - /NO】 + /YES】..... P23 |
| ④ 【オーケストラ】 P31 | ⑰ 【音量】 P10 |
| ⑤ 【リズム】 P31 | ⑱ 【一時停止】 P28 |
| ⑥ 【曲番号】 P25 | ⑲ 【停止】 P27 |
| ⑦ 【テンポ】 P28 | ⑳ 【再生】 P26 |
| ⑧ 【チューニング】 P29 | ㉑ 【巻戻し】 P28 |
| ⑨ 【移調】 P37 | ㉒ 【早送り】 P28 |
| ⑩ 【メトロノーム】 P35 | ㉓ 【繰り返し】 P33 |
| ⑪ 【カウントイン】 P34 | ㉔ 【A】 P32 |
| ⑫ 「小節」ランプ P22 | ㉕ 【B】 P32 |
| ⑬ ディスプレイ P22 | ㉖ 【マーク取り消し】 P32 |

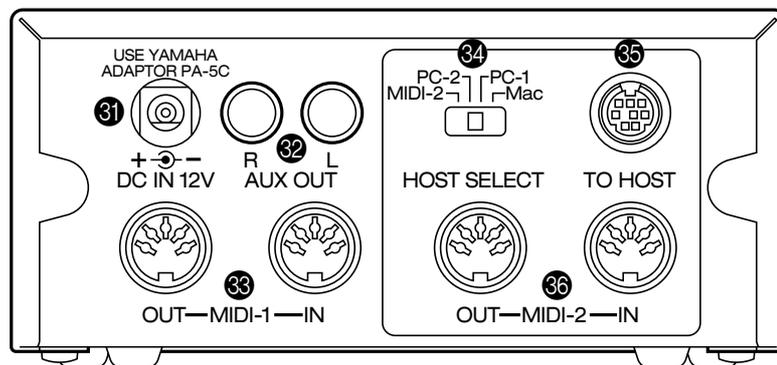
フロントパネル

- | |
|--|
| ⑲ ディスクドライブユニット P8 |
| ⑳ 【電源】 P10 |
| ㉑ 「GM(^{ジーエム} ジェネラル ^{ミディ} MIDI)規格」のマーク ... 上記 |
| ㉒ 「XGフォーマット」のマーク ... 上記 |

リアパネル

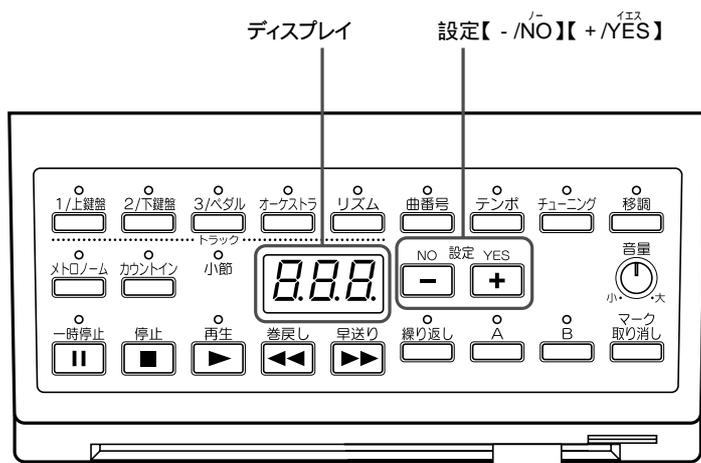
- | |
|-----------------------------|
| ③① 【DC IN 12V】 P9 |
| ③② AUX OUT【R】L】 P9 |
| ③③ MIDI-1【OUT】IN】 P41 |
| ③④ HOST SELECT P40 |
| ③⑤ 【TO HOST】 P40 |
| ③⑥ MIDI-2【OUT】IN】 P41 |

リアパネル



共通操作

MDP-20XGを操作する上での共通事項を説明します。

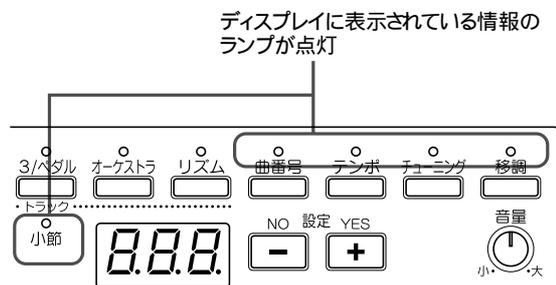


ディスプレイの見方

MDP-20XGのディスプレイは、通常下記の情報のうち1つを表示します。

- ・ 現在の小節数
- ・ 選ばれている曲番号
- ・ 現在のテンポ値
- ・ 現在のチューニング値
- ・ 現在の移調の状態

今どの情報が表示されているかは、「小節【曲番号】テンポ【チューニング】移調】のランプで知ることができます。ランプが点灯している情報が今表示されている情報です。



ディスプレイの切り替え

4つのボタン【曲番号】【テンポ】【チューニング】【移調】で切り替えます。
ディスクソフトがディスクドライブに差し込まれているときと差し込まれていないときとで、下記のように操作が異なります。

ディスクソフトが差し込まれているとき

- ・ ボタンの1つを押すとランプが点灯し、その表示に切り替わります。
- ・ 別のボタンを押すと、押したボタンの表示に切り替わります。
- ・ ランプが点灯しているボタンを再度押すと、そのボタンのランプは消灯し、「小節」のランプが点灯して、小節表示に切り替わります。
- ・ ディスクを差し込んだときには自動的に曲番号表示に切り替わります。
- ・ 再生がスタートしたときには自動的に小節表示に切り替わります。再生中にディスプレイの切り替え操作を行わなかった場合、再生がストップしたときには自動的に再生前の表示に戻ります。

ディスクソフトが差し込まれていないとき

- ・ ボタンの1つを押すとランプが点灯し、その表示に切り替わります。ただし、【曲番号】は無効で、押しても曲番号表示にはなりません。
- ・ 別のボタンを押すと、押したボタンの表示に切り替わります。ただし、【曲番号】は無効で、押しても曲番号表示にはなりません。
- ・ ランプが点灯しているボタンを再度押すと、そのボタンのランプは消灯し、【テンポ】のランプが点灯して、テンポ表示に切り替わります。(ランプが点灯しているボタンが【テンポ】の場合は、再度押してもテンポ表示のままとなります。)
- ・ ディスクを抜いたときには自動的にテンポ表示に切り替わります。

電源を入れたときの表示

電源を入れたときは、テンポ表示になります。(ただし、電源を入れたときディスクソフトが差し込まれていた場合は、しばらくテンポが表示されたあと曲番号表示に変わります。)

各種の設定操作中は...
設定値の表示になります。

設定【^{ノー}- /NO】^{イエス}+ /YES】の操作について

設定【^{ノー}- /NO】^{イエス}+ /YES】は各種の設定操作に使われます。
どの場合でも共通して、次の2つの操作を覚えておくと便利です。

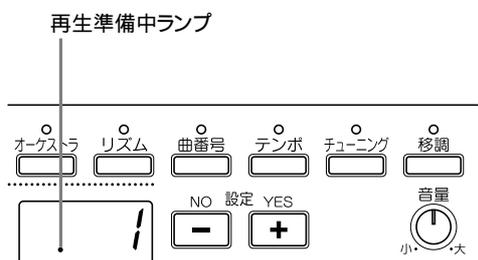
- ・ 押し続けると連続して値が変わります。(ただし、最大値/最小値に達すると止まる場合と、止まらずに循環する場合があります。)
- ・ 設定【^{ノー}- /NO】と【^{イエス}+ /YES】を同時に押すと、基本設定(工場出荷時の設定)に戻ります。

設定の記憶について

「チューニング (P30)」と「メトロノーム音量 (P36)」の設定値は、電源を切っても記憶されていて、次回電源を入れたときにも前回の設定値が有効になります。(それ以外の設定値は、電源を切ると消えますので、電源を入れたときには常に基本設定 [工場出荷時の設定] になります。)

ノート 再生準備中ランプについて...

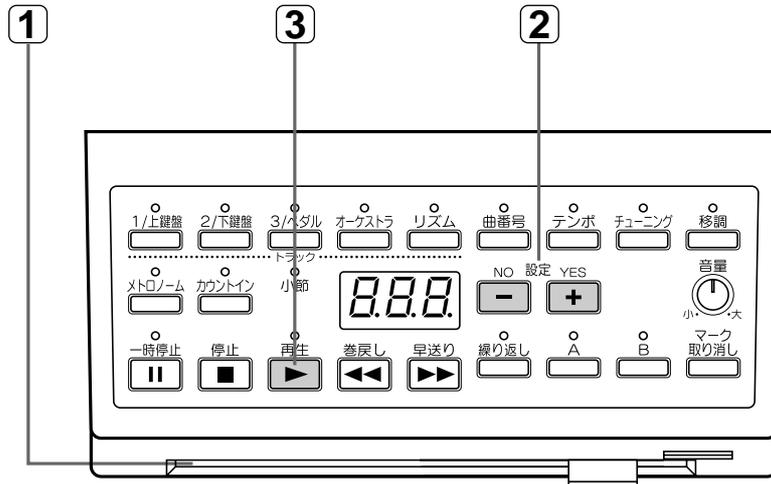
ディスクを差し込んだときや曲を選んだときなどの操作中、再生準備中ランプ(ディスプレイの左下端のランプ [イラスト参照])が多少の時間点灯することがあります。このときはMDP-20XGが再生準備中で、次の操作スイッチを押しても効かないことがあります。このランプが消灯してから次の操作をしてください。尚、このときはディスクを抜かないでください。MDP-20XGの故障の原因になる場合があります。



再生の基本操作

ディスクソフトを再生する基本操作を説明します。

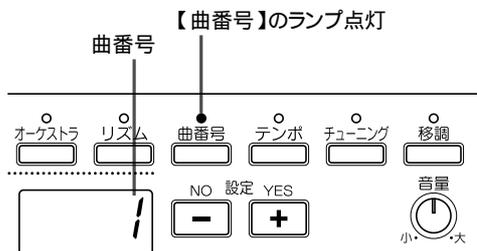
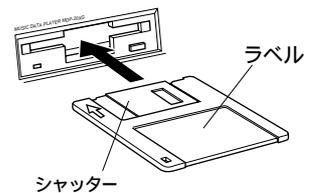
再生の基本手順



1 ディスクを入れる

再生したいディスクソフトをディスクドライブに差し込みます。
ラベルが貼ってある面を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまで
ていねいに差し込んでください。

⇒ 【曲番号】のランプが点灯し、ディスプレイが自動的に曲番号表示に切り替わ
ります。(通常は1曲め「1」が表示されます。)



②. 他の曲番号になることもあ
ります...

1曲めに曲データがない場合は
他の曲番号になります。

③. 曲番号でなく「 --- 」と表示
されることもあります...

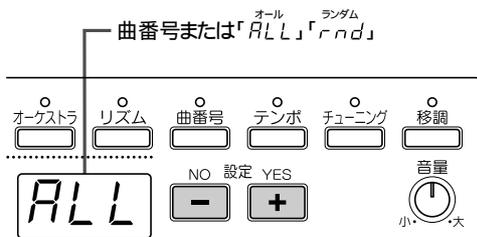
曲データがまったく入ってい
ないディスクが差し込まれた場合
は「 --- 」と表示されます。この
ディスクは抜き、曲データのある
ディスクを用意してください。

2 曲を選ぶ

設定【 - /NO】+ /YES】を押して、再生する曲番号、または「ALL」「rnd」を選びます。

(ディスプレイが曲番号表示になっていないとき【曲番号】のランプが点灯していないとき)は、【曲番号】を押してディスプレイを曲番号表示に切り替えてから行ってください。)

⇒ 選ばれた曲番号、または「ALL」「rnd」がディスプレイに表示されます。



「ALL」を選ぶと …… 全曲が曲順どおりに連続再生されます。

「rnd」を選ぶと …… 全曲が順不同に連続再生されます。

②。曲番号を選んでいるとき番号がとびとびに表示されることもあります…
曲データの無い番号はとばされて表示されません。(曲データのある番号だけ表示されます。)

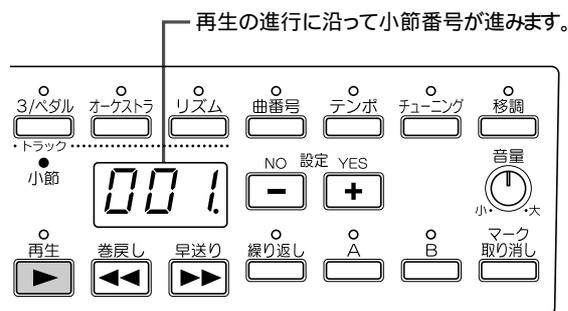
選んだ曲からスタートする連続再生…
選んだ曲からスタートして連続再生させる方法もあります：
スタートする曲番号を選び、【曲番号】を押したまま【再生】を押して再生スタートします。

1曲だけの繰り返し再生…
選ばれている1曲だけを繰り返し再生させる方法もあります：
「ALL」「rnd」以外のとき、【繰り返し】を押してランプを点灯させます。
再度【繰り返し】を押すとランプが消灯し、繰り返し解除されます。(A点もB点も設定されていない場合(P33)に限ります。)

3 再生スタート

【再生】を押します。

⇒ 再生がスタートし、ディスプレイが自動的に小節表示に切り替わります。(「小節」のランプが点灯します。)



❗ 再生中はディスクを取り出さないでください。

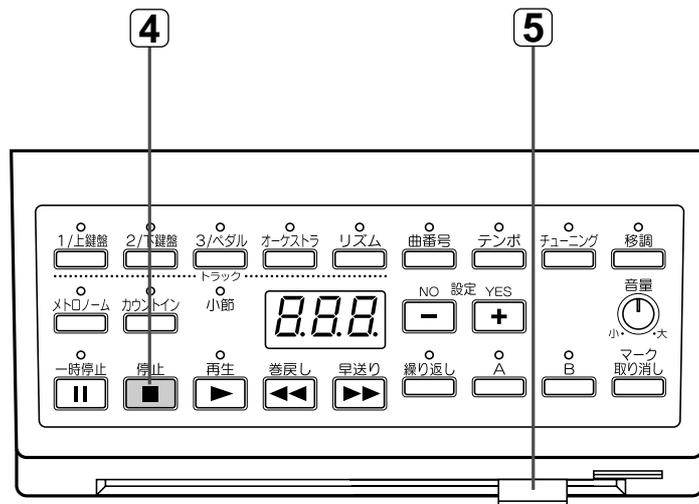
音量の調節

MDP-20XGの【音量】とエレクトーンのボリュームで調節します。

②。ディスプレイの小節番号が実際の曲の小節番号と一致しないこともあります…

一定のテンポが設定されていない曲の場合は、小節番号は実際の曲の小節番号とは一致せず、単に曲の進行を示す目安となります。

再生中に【曲番号】を押すと…
【曲番号】のランプが点灯し、ディスプレイが曲番号表示に切り替わります。「ALL」「rnd」の場合は、現在再生中の曲番号が表示されます。
ただし再生中は、設定【 - /NO】+ /YES】を押しても曲番号は変更されません。
再度【曲番号】を押すと、【曲番号】のランプは消灯し、「小節」のランプが点灯して、小節表示に戻ります。



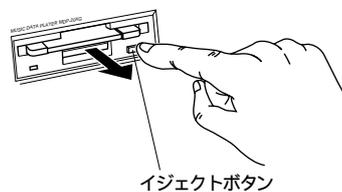
4 再生ストップ

【停止】を押します。

⇒ 再生がストップし、再生位置が自動的に曲の先頭に戻ります。
オール ランダム
 (「ALL」以外で曲が最後まで再生された場合は自動的にストップし
 ます。)

5 ディスクを抜く

ディスクを使い終わったら、イジェクトボタンを押してディスクを抜きます。



テンポの調節

【テンポ】を押します。

⇒ 【テンポ】のランプが点灯し、ディスプレイがテンポ表示に切り替わります。

⇒ 設定【^{ノー}- /NO】^{イエス}+ /YES】で

テンポを調節します。(押し続けると、テンポが連続して変わります。)

設定範囲: 32 ~ 280 (数値は1分間の拍数を示します。)

- ・ 設定【^{ノー}- /NO】と【^{イエス}+ /YES】を同時に押すと、その曲の元のテンポ(設定されているテンポ)に戻ります。

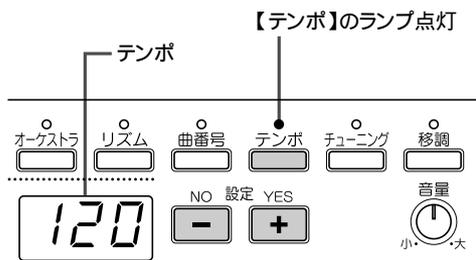
ディスプレイを小節表示に戻す場合

再度【テンポ】を押すと、【テンポ】のランプは消灯し、「小節」のランプが点灯して、小節表示に戻ります。

その他ディスプレイの切り替えについては「ディスプレイの切り替え」(P23)をご覧ください。

拍子ランプについて

再生中、拍子ランプ(ディスプレイの右下端のランプ [イラスト参照])がそのときのテンポに合わせて点滅します。



②。テンポが「---」と表示されることもあります...

一定のテンポが設定されていない曲の場合は、テンポは「---」と表示されます。

②。テンポを調節しても「---」と表示されることもあります...

一定のテンポが設定されていない曲の場合は、テンポを調節しても表示は「---」のままとなります。

テンポのリセット...

新しい曲を選ぶと(または、「^{オールランダム}ALL random」で新しい曲がスタートすると)その曲に設定されているテンポに自動的にリセットされます。

ディスクが差し込まれていない場合のテンポ...

設定【^{ノー}- /NO】と【^{イエス}+ /YES】を同時に押すと、テンポ120(基本設定)に戻ります。

②。拍子ランプが点滅しないこともあります...

一定のテンポが設定されていない曲の場合は、拍子ランプは点滅しません。

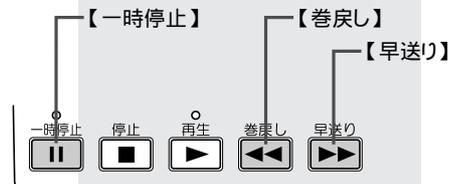
【巻戻し】【早送り】【一時停止】

・【巻戻し】: 【巻戻し】を押すと、小節単位で曲が巻き戻ります。押し続けると連続して巻き戻ります。(再生音は聞こえません。)

・【早送り】: 再生中は【早送り】を押している間曲が早送りされます。(再生音が聞こえます。)

停止中、一時停止中は、【早送り】を押すと小節単位で曲が早送りされます。押し続けると連続して早送りされます。(再生音は聞こえません。)

・【一時停止】: 再生中に【一時停止】を押すと、再生が一時的に止まります。再度【一時停止】を押すか【再生】を押すと、再び再生が始まります。



【巻戻し】【早送り】を押すと...
ディスプレイは自動的に小節表示に切り替わります。

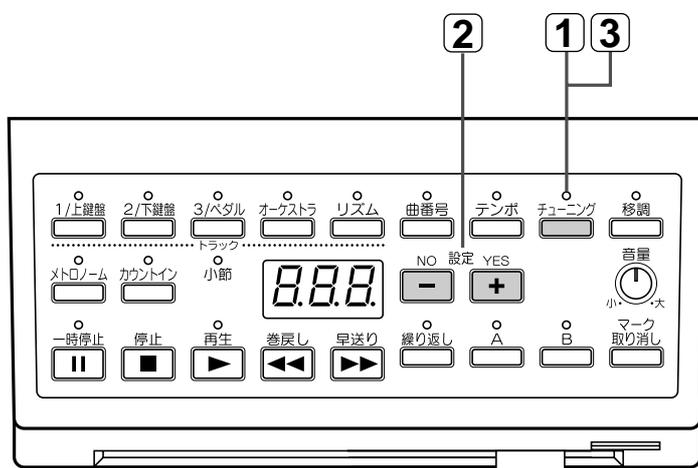
ソフトの曲の練習に便利な機能

ソフトの曲を練習をするときに便利な機能を説明します。

チューニング

再生音の音程を微調整することができます。

再生音の音程を、演奏するエレクトーンの音程に正確に合わせたいときに使います。



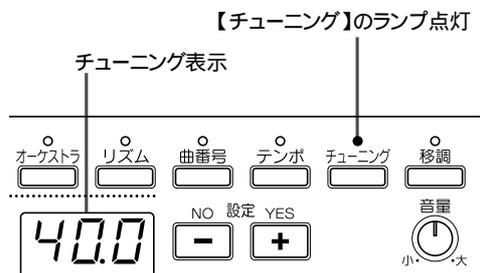
再生中にチューニングを行うと、再生トラックの音色がすべてXGリセットの状態になりますので、再度再生をスタートし直してください。

1 【チューニング】を押す

【チューニング】を押します。

⇒ 再生停止中は自動的にA3の音程が基準音として鳴ります。(再生中は鳴りません。)

また、【チューニング】のランプが点灯し、ディスプレイがチューニング表示に切り替わります。



ノート チューニング表示の見方...

A3の音程のHz(ヘルツ)の数値が、440.0の場合「40.0」(100の位は省略)のように表示されます。

②。チューニング中は再生スタートできません...

チューニング中(【チューニング】のランプが点灯中)は、【再生】【繰り返し】【A】【B】のボタンは効きません。

チューニングを終了してから(【チューニング】を押してランプを消灯させてから)操作してください。

基準音について...

・基準音を止めたい場合は【停止】を押します。

・再度鳴らしたい場合は、いったん【チューニング】を押してチューニングを終了し、もう一度【チューニング】を押します。

・基準音は移調の設定(P37)には影響されません。

Hz(ヘルツ)とは...

音の高さを示す単位です。(音の高さは音波の振動数によって決まります。1秒間に音波が何回振動するかという数値の単位がHz(ヘルツ)です。)

基準音の音程を変更したい場合

基準音の音程を変更することもできます。

基準音が鳴っているときに【巻戻し】早送り】で変更します。【巻戻し】を押すと基準音が半音ずつ下がり【早送り】を押すと半音ずつ上がります。

設定範囲: A₂[=A₃の1オクターブ下]~ A₄[=A₃の1オクターブ上]【半音単位 A₃が基本設定】

⇒ ディスプレイに基準音の音程が表示されます。

・【巻戻し】と【早送り】を同時に押すと、基本設定(A₃)に戻ります。

ノート 基準音の音程表示の見方...

「#」と「b」はそれぞれ「#」と「b」で示されます。

たとえば「F#₃」は「F #₃」、「B₃」は「b₃」と示されます。

F # 3

(F#₃)

b 3

(B₃)

2 チューニング値を設定する

設定【- /NO】+ /YES】で設定します。

設定範囲: (A₃=)415.2(Hz)~466.2(Hz)【0.2Hz単位、440.0が基本設定】

⇒ ディスプレイに設定値がA₃の音程のHz(ヘルツ)の数値(100の位は省略)で表示されます。

15.2 ~ 66.2

3 再度【チューニング】を押して終了

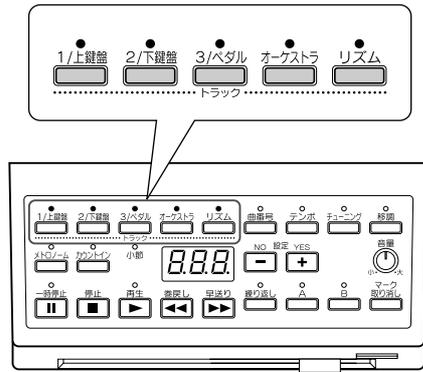
再度【チューニング】を押して終了します。

⇒ 【チューニング】のランプが消灯し、ディスプレイがテンポ表示(ディスクが入っていないとき)または小節表示(ディスクが入っているとき)に戻ります。

チューニングの設定の記憶...
チューニングの設定は電源を切っても記憶されています。(基準音の設定は記憶されません。)
(「設定の記憶について」P24)

オン/オフ トラックごとの再生ON/OFF

曲を選ぶと、その曲のデータが入っているトラック【1/上鍵盤【2/下鍵盤【3/ペダル】
【オーケストラ【リズム】】のランプが点灯します。



ランプが点灯しているトラックのボタンを押すと、ランプが消灯し、そのトラックの
データの再生がOFFになります。ボタンを押すごとに再生ON/OFFが切り替ります。

新しい曲を選ぶと(または、「オール RLL」ランダム rnd」で新しい曲がスタートすると)ON/OFFの設定
はリセットされて、データが入っているすべてのトラックのランプが点灯します。

主な使い方

- 聞きたいパートのトラックだけ再生
- アンサンブル演奏
メロディパート(メインパート)のトラックを再生OFFし、伴奏パートだけ再生しながら、メロ
ディパートをご自身で演奏して、アンサンブル演奏を楽しむことができます。
- パート練習
上鍵盤/下鍵盤/ペダルパートや右手/左手パートが別々のトラックに入っているディス
クソフトでは、練習したいパートの再生をOFFにして、(他のパートを再生しながら)パート
練習することができます。

マークとジャンプ/繰り返し再生

曲中のポイント(A点、B点の2箇所)を設定(マーク)して、再生開始位置をそのポイントへ
飛ばした(ジャンプ)、A点とB点の間を繰り返し再生しながら部分練習をすることがで
きます。

【**ノ**】 「マークとジャンプ/繰り返し再生」機能が使えないこともあります...
オール RLL」ランダム rnd」のときは「マークとジャンプ/繰り返し再生」機能は使えません。

①。トラックのランプの点灯のし
かたについて...

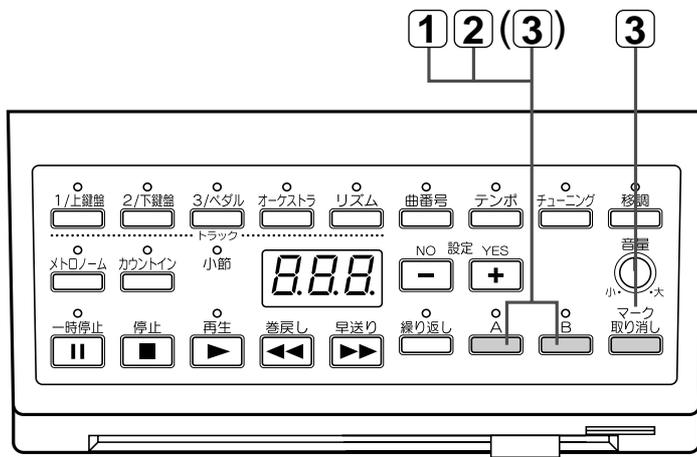
- 曲データにより、音のデータが
入っていないでも、曲をコント
ロールするデータなどが入っ
ているため、トラックのランプ
が点灯する場合があります。

- 曲データにより、データのある
なしに関わらず、全トラックの
ランプが点灯する場合があります。

②。どのパートがどのトラックに
入っているかは曲データに
より異なります...

- MDP-20XG専用ディスクソフ
ト「エレクトーン ア・ラ・モード
フェイスエクスプレッサー
with XG」では、上鍵盤/下鍵
盤/ペダルパートがそれぞれ
【1/上鍵盤【2/下鍵盤【3/ペ
ダル】トラックに入っていま
す。
- 曲データにより、右手パートと
左手パートが1つのトラックに
入っていたり、メロディパート
やベースパートが【オーケス
トラ】トラックに入っている場合
もあります。

マークとジャンプ



1 マーク(A点、B点の設定)

曲を再生しながら、A点にしたいポイントで【A】を、B点にしたいポイントで【B】を押します。
(ジャンプしたいポイントが1箇所であればA点かB点のどちらかだけでけっこうです。)

⇒ 押したボタン【A】【B】のランプが点灯し、それぞれ設定されたことを示します。

ヒント 小節の区切りめでマークする便利な方法...

停止中や一時停止中に【早送り】と【巻戻し】を使ってマークしたい小節のところで止めます。

➡ 【A】または【B】を押します。

⇒ 【A】または【B】がその小節の先頭(その小節と前の小節との境め)にマークされます。

2 ジャンプ

A点、B点を設定後(【A】【B】のランプが点灯)、【A】を押すとA点へ、【B】を押すとB点へ、再生開始位置がジャンプします。

・再生中にジャンプすると、ジャンプしたポイントへ移って再生が続きます。停止中や一時停止中にジャンプするとジャンプしたポイントへ移って停止中や一時停止中のままとなります。

3 マークの解除

【マーク取り消し】を押すと、A点、B点共、設定が解除されます。

【マーク取り消し】を押したまま【A】を押すと、A点の設定だけが解除されます。

【マーク取り消し】を押したまま【B】を押すと、B点の設定だけが解除されます。

⇒ 【A】【B】のランプが消灯します。

❓。A点またはB点が設定できないこともあります---

A点、B点の位置関係は、A点が前、B点が後と決まっています。したがって、A点より前にB点を(B点より後にA点を)設定することはできません。

カウント音...

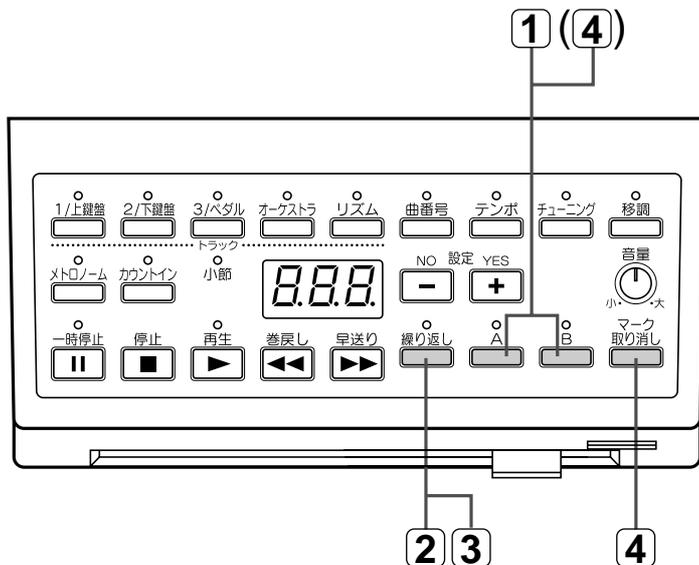
ジャンプしたポイントから再生がスタートするとき、自動的にカウント音が入ります(一定のテンポが設定されていない曲を除く)。

【カウントイン】がONになっている場合はカウントイン(P34)が入ります(一定のテンポが設定されていない曲を除く)。

カウント音やカウントインの音量は、メトロノーム音量(P36)に連動します。

新しい曲を選ぶと...

自動的に、A点、B点共、設定が解除されます。



1 マーク(A点、B点の設定)

P32「マークとジャンプ」の項目)の操作で設定します。繰り返しの始まりをA点に、繰り返しの終わりをB点に設定します。

ノート A点とB点の設定の仕方について...

- ・ A点だけ設定した場合...
A点から曲の終わりまでが繰り返し範囲となります。
- ・ B点だけ設定した場合...
曲の始まりからB点までが繰り返し範囲となります。
- ・ A点もB点も設定しなかった場合...
選ばれている1曲全体が繰り返し範囲となります。

ヒント 小節の区切りめでマークする便利な方法(例:9~12小節の場合)...

停止中や一時停止中に【早送り】と【巻戻し】を使って繰り返しの始まりの小節(009)のところで止め、【A】を押します。

同様の方法で、繰り返しの終わりの次の小節(013)のところで止め、【B】を押します。

2 繰り返し再生のスタート/ストップ

【繰り返し】を押します。

⇒ 【繰り返し】のランプが点灯します。

その後、通常の再生、停止操作で繰り返し再生のスタート/ストップができます。

カウント音...

繰り返し再生がスタートするとき、自動的にカウント音が入ります(一定のテンポが設定されていない曲を除く)。ただし、繰り返しの始まりが曲頭の場合は、カウント音は入りません。

【カウントイン】が^{オン}になっている場合はカウントイン(P34)が付きます(一定のテンポが設定されていない曲を除く)。

カウント音やカウントインの音量は、X-Tone音量(P36)に連動します。

3 繰り返し再生の解除

【繰り返し】を再度押します。

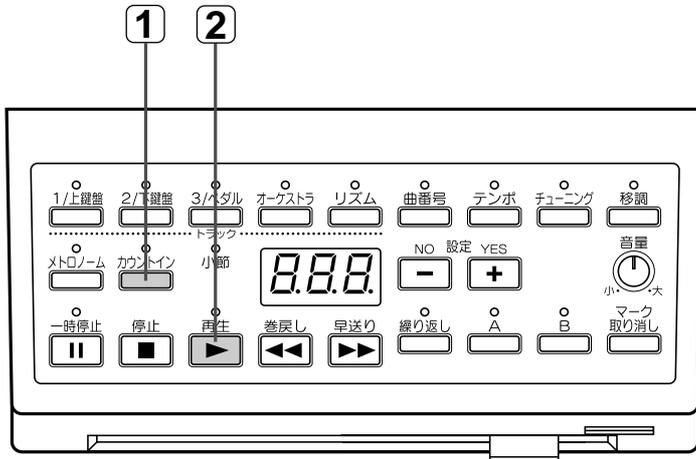
⇒ 【繰り返し】のランプが消灯し、繰り返しが解除されます。

4 マークの解除

P32「マークとジャンプ」の項目)の操作で解除します。

カウントイン

曲の始まりに1~2小節のカウントイン(メトロノーム)を付けて再生スタートすることができます。曲のタイミングをとってエレクトーンを演奏し始めたいときに便利です。



1 カウントインのON/OFF

再生停止中、【カウントイン】を押すごとにカウントインのON/OFFが切り替わります。

⇒ ONで【カウントイン】のランプが点灯、OFFで消灯します。(再生中はカウントインがONでも【カウントイン】のランプは消灯します。)

2 カウントインでスタート

カウントインをONにして再生をスタートすると、1~2小節のカウントイン(メトロノーム)が付いて再生がスタートします。

⇒ カウントイン中ディスプレイに「-02」-01」とスタート前の小節表示が現れます。

通常の操作で再生のスタート/ストップを行います。

新しい曲を選ぶと...
自動的に繰り返しは解除されます。

②. カウントインが使えないこともあります...
ディスクが差し込まれていないときや、一定のテンポが設定されていない曲が選ばれているときは、カウントインは使えません。

②. カウントインのON/OFFの操作ができないこともあります...
曲の再生中は、カウントインのON/OFFの操作はできません。

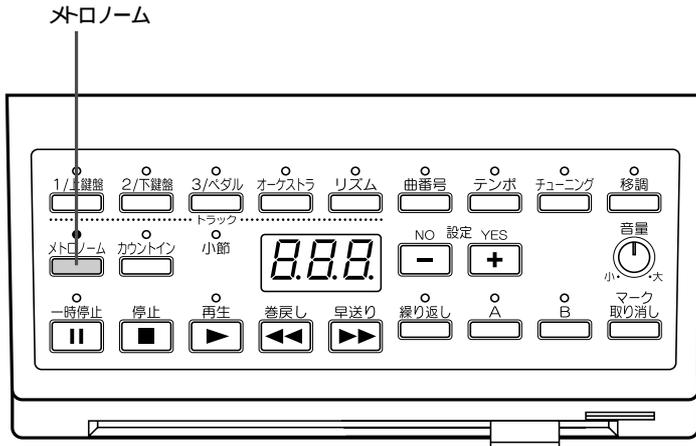
新しい曲を選ぶと...
自動的にカウントインはOFFされます。

カウントインの音量は...
メトロノーム音量(P36)に連動します。

一時停止を解除したときや、ジャンプと繰り返し再生の始まりでも...
カウントインをONにしていればカウントインが付きます。

メトロノーム

MDP-20XGは、メトロノーム(楽器の練習によく使われる、正確なテンポを刻む道具)を備えています。メトロノームとして単独で使うことも、曲を再生しながらタイミングをとる助けとして使うこともできます。

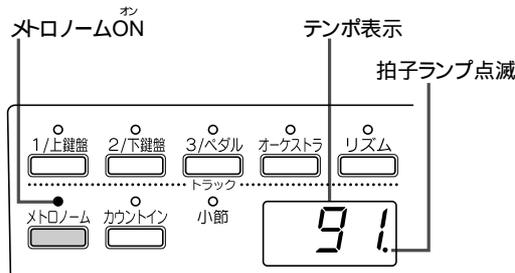


メトロノームのON/OFF

【メトロノーム】を押すごとに【メトロノーム】のON/OFFが切り替わります。

- ⇒ ONでメトロノームが鳴り出し【メトロノーム】のランプが点灯し、拍子ランプがそのときのテンポに合わせて点滅します。
- ⇒ OFFでメトロノームが止まります【メトロノーム】のランプが消灯し

- ・メトロノームをONにしたとき、自動的に【テンポ】のランプが点灯し、ディスプレイがテンポ表示に切り替わります。設定【- /NO】+ /YES】でテンポを調節してください(設定範囲:32 ~ 280)



②。メトロノームが使えないこともあります...

ディスクが差し込まれていて、一定のテンポが設定されていない曲が選ばれているときは(再生中でも停止中でも)メトロノームは使えません。リズムトラックのない曲が選ばれているときも、メトロノームは使えません。

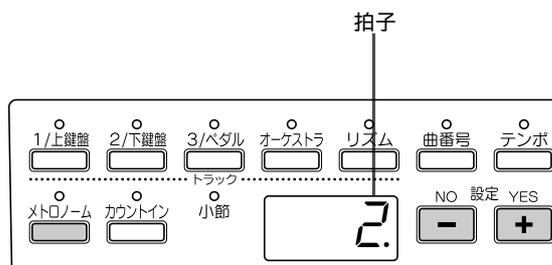
曲の再生中にメトロノームをONにすると...

再生のタイミングに自動的に合わせてメトロノームが鳴ります。再生の停止でメトロノームも自動的に止まります。

メトロノームの拍子の設定

メトロノームの拍子も任意に設定することができます。設定した拍子の一拍めにアクセントが付きます。

【メトロノーム】を押したまま設定【 - /NO ^{ノー}】+ /YES ^{イエス}】で設定します。



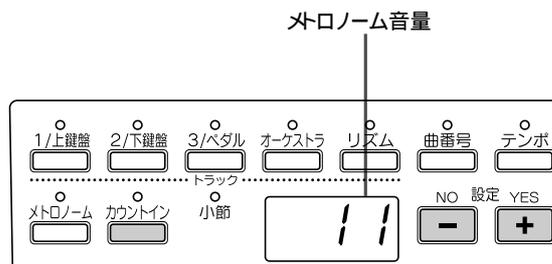
設定範囲: ^{ノーマル}nor(無拍子、基本設定) 2、3、4、5、6

⇒ 設定操作中ディスプレイに拍子が表示されます。操作終了(【メトロノーム】を離す)で表示が元に戻ります。

メトロノーム音量の設定

メトロノームの音量も任意に設定することができます。

【カウントイン】を押したまま設定【 - /NO ^{ノー}】+ /YES ^{イエス}】で設定します。



設定範囲: 1 ~ 20 (10 が基本設定)

⇒ 設定操作中ディスプレイにメトロノーム音量が表示されます。操作終了(【カウントイン】を離す)で表示が元に戻ります。

曲の再生中のメトロノームの拍子は...

メトロノームの拍子が^{ノーマル}nor(無拍子)以外に設定されているときには、設定されている拍子に関わらず自動的に曲の拍子でメトロノームが鳴ります。(このとき拍子は変えられません。)再生終了後は、自動的に設定されている拍子に戻ります。

カウントインやカウント音の音量...

カウントイン(P34)や、ジャンプ(P32)、繰り返し再生(P33)のときのカウント音の音量も、メトロノーム音量に連動します。

メトロノーム音量の設定の記憶...

メトロノーム音量の設定は電源を切っても記憶されています。(「設定の記憶について」P24)

②。曲の再生中、メトロノーム音量が設定どおりにならないことがあります...

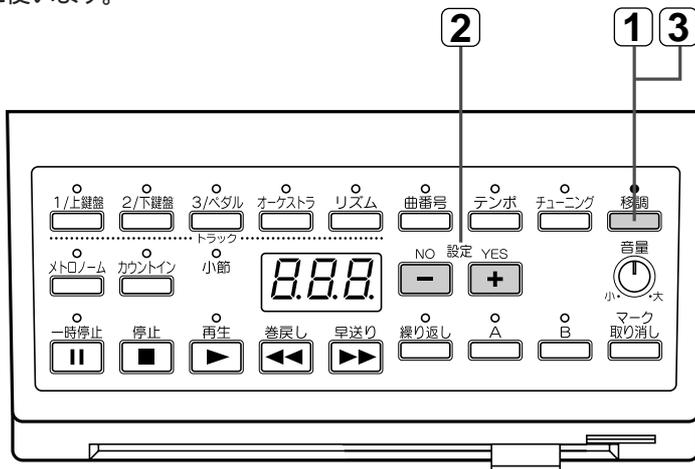
曲を再生しながらメトロノームを鳴らす場合、曲データのリズムトラックにボリュームデータが入っていると、ここで設定された音量が無効になり、リズムトラックのボリュームデータが有効になる場合があります。また、曲データのエフェクト等によって多少音質が変わる場合もあります。

その他の機能

「移調」と「ディスクのフォーマット」について説明します。

移調

再生する曲を移調(キーを上げたり下げたりする)することができます。
曲の調を変えたり、カラオケで歌うときに、再生する伴奏を自分の歌いやすいキーに変えたりするのに使います。

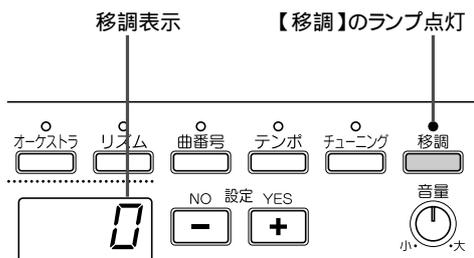


「移調」の設定は、MDP-20XG本体の再生音に有効ですが、MDP-20XGから出力されるMIDIデータには影響しません。したがって、MDP-20XG専用ディスクソフト「エレクtoon ア・ラ・モード with XG」^{ワイス エクスタジー}やその他のエレクtoon専用ディスクソフトでエレクtoonを鳴らしている場合、エレクtoonの音は移調されません。

1 【移調】を押す

【移調】を押します。

- ⇒ 【移調】のランプが点灯し、ディスプレイが移調表示に切り替わります。



【ノート】 移調表示の見方...

元の調に対しての移調量がプラスマイナスの数値(半音単位)で表示されます。(「-24~0~24」元の調のままのとき「0」)

2 移調量を設定する

設定【- /NO】+ /YES】で設定します。

設定範囲:-24[-2オクターブ]~0~24[+2オクターブ]【半音単位、0が基本設定】

- ⇒ ディスプレイに設定値が表示されます。

3 再度【移調】を押して終了

再度【移調】を押して終了します。

- ⇒ 【移調】のランプが消灯し、ディスプレイがテンポ表示(再生停止中)または小節表示(再生中)に戻ります。

ディスクのフォーマット

MDP-20XGでフロッピーディスクをフォーマットする操作を説明します。

パーソナルコンピューターなどで作成した曲データをMDP-20XGで再生したい場合、その曲データをMDP-20XGでフォーマットしたディスクにコピーして、MDP-20XGで再生することができます。

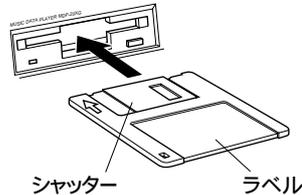
❗ フォーマットを実行すると、そのディスクに記録されているデータはすべて消えますのでご注意ください。

1 【マーク取り消し】を押したままディスクを入れる

【マーク取り消し】を押したまま、フォーマットしたいディスクをディスクドライブに差し込みます。ディスプレイに「*F_or_m*」(Formatの略)が表示されるまで【マーク取り消し】を押し続けます。

ディスクはラベルが貼ってある面(ラベルを貼る面)を上向き、シャッター側を奥にして、カチッと音がするまで、いねいに差し込んでください。

⇒ ディスプレイに「*F_or_m*」(Formatの略)が表示されたあと、約2秒後に「*n_o/y_es*」(no/yesの確認)の表示に変わります。



2 フォーマットを実行する

設定【+/YES】を押します。

(フォーマットを中止する場合は設定【-/NO】を押します。)

⇒ ディスプレイがフォーマット実行中を示す表示「*F_or_m*」に切り替わります。しばらくして「*E_nd*」が表示されてフォーマットが完了し、「*---*」の表示(曲データがまったく入っていないディスクの曲番号表示)になります。

⊘ フォーマット実行中はフロッピーディスクを取り出さないでください。

フォーマット(初期化)とは...

フロッピーディスクは、パーソナルコンピューターなどのいろいろな機器で、いろいろなデータの収納場所として使われます。その際、フロッピーディスクのデータの収納方式にはいくつかの種類があるため、その機器で対応している収納方式をフロッピーディスクに最初に指定する作業が必要になります。(たとえば、白い紙に縦書きの線を入れるか横書きの線を入れるかというようなことです。この作業を「フォーマット(初期化)」といいます。

フォーマットの種類...

MDP-20XGでフォーマットすると、2DDディスクはMS-DOS(エムエスドス) 720KB(キロバイト)、2HDディスクはMS-DOS(エムエスドス) 1.44MB(メガバイト)にフォーマットされます。(「2DD」「2HD」はディスクの種類を示す言葉、「720KB」「1.44MB」はデータの記憶容量を示す言葉ですが、フォーマットの種類についてこのような言い方をします。)

❓ ディスプレイに「Er1」が表示されたら...

ディスクのライトプロテクトタブが書き込み禁止の位置になっていることを示します。そのディスクを抜き、ライトプロテクトタブを書き込み可の位置にしてから(P8)フォーマット操作をし直してください。

❓ ディスプレイに「Er2」が表示されたら...

市販のディスクソフトの中には、内部的に保護されていてフォーマットできないものがあります。そのようなディスクをフォーマットしようとしたときに表示されます。そのディスクは抜き、別のディスクを用意してフォーマットし直してください。

パーソナルコンピューターなどで作成した曲データをMDP-20XGで再生する方法

パーソナルコンピューターなどで作成した曲データをMDP-20XGで再生するには、2つの方法があります。

パーソナルコンピューターとMDP-20XGを接続 (P40) し、パーソナルコンピューターのシーケンスソフトで再生する方法

曲データをMDP-20XGでフォーマットしたディスクに、パーソナルコンピューター上でコピーして、そのディスクをMDP-20XGで再生する方法

ノート コピーに使用するディスクについて...

コピーに使用するディスクは、MDP-20XGでフォーマットしたディスクでなくても、「MS-DOS(エムエス・ドス) 720KB(キロバイト)フォーマットの2DDディスク」が「MS-DOS(エムエス・ドス) 1.44MB(メガバイト)フォーマットの2HDディスク」であれば問題ありません。

ノート マッキントッシュ Macintoshのパーソナルコンピューターでのご注意...

マッキントッシュ Macintosh上で曲データを、MDP-20XGでフォーマットしたディスク(または上記フォーマットのディスク)にコピーする場合、「Apple File Exchange」や「Macintosh PC Exchange」などのユーティリティソフトウェアを使って、ディスクを認識できるようにする操作が必要になる場合もあります。

ノート 「ディスクのフォーマット」のほかに、曲データの「シーケンスフォーマット」と「音色配列フォーマット」を確認してください...

MDP-20XGで再生できる「シーケンスフォーマット」と「音色配列フォーマット」は下記のとおりです。下記以外の曲データは再生できなかったり、正しく再生できなかったりします。

シーケンスフォーマット: エスエムエフ SMR(フォーマット0、フォーマット1(17チャンクまでのもの))

音色配列フォーマット: ジーエム GMシステムレベル1
エックスジー XG

上記の各フォーマットについての説明は、P45の「MDP-20XGで再生できるディスクソフトの各種フォーマット」をご覧ください。

MS-DOSは、米国マイクロソフト社の登録商標です。

Macintosh、Apple File Exchange、Macintosh PC Exchangeは、米国アップルコンピュータ社の登録商標および商標です。

パーソナルコンピューターとの接続

パーソナルコンピューター用の音楽ソフトを、MDP-20XGの【TO HOST】またはMIDI-2端子とパーソナルコンピューターをつないで楽しむことができます。

ノート このような使い方をする場合は、ディスクを抜き、【チューニング】のランプが消灯していることを確認してください。

MDP-20XGとコンピューターを接続する場合、2つの方法があります。

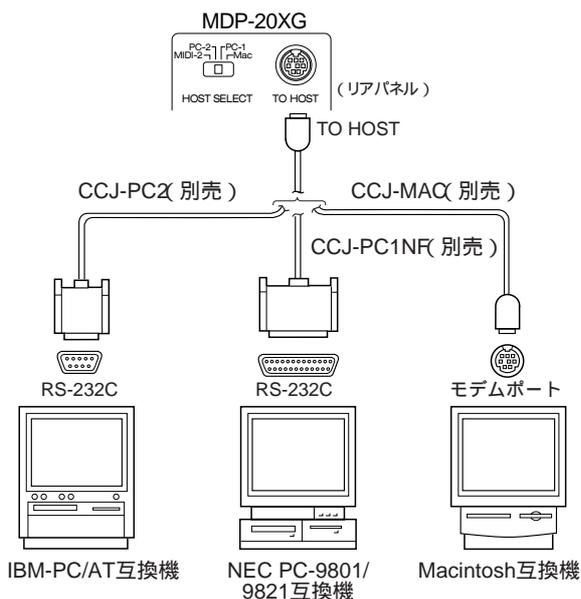
1. MDP-20XGの【TO HOST】端子を使った接続方法
2. MDP-20XGのMIDI-2端子を使った接続方法

1. MDP-20XGの【TO HOST】端子を使った接続方法

コンピューターのシリアルポート(RS-232C端子やRS-422端子)とMDP-20XGの【TO HOST】端子を接続します。この方法では、MDP-20XGがMIDIインターフェース機器(コンピューターとMIDI機器の仲立ちをする機器)の役割も果たすため、専用のMIDIインターフェース機器は不要です。

接続方法

コンピューターのシリアルポート(RS-232C端子やRS-422端子)を、専用のシリアルケーブルで、MDP-20XGの【TO HOST】端子に接続します。



接続するシリアルケーブルの種類

接続するコンピューターの種類に合わせて、下記のシリアルケーブルを使用してください。

- Macintosh互換機: YAMAHA CCJ-Mac、または同等品
- NEC PC-9801/9821互換機: YAMAHA CCJ-PC1NF、または同等品
- IBM-PC/AT互換機: YAMAHA CCJ-PC2、または同等品

HOST SELECTスイッチの設定

接続するパーソナルコンピューターの種類によって、MDP-20XGのHOST SELECTスイッチを切り替えます。

- Macintosh互換機: 【Mac】(ボーレート=31,250bps、1MHzのクロックを使用)
- NEC PC-9801/9821互換機: YAMAHA CBX-T3 Serial Driver (Windows 3.1対応)をお使いの場合【PC-1】(ボーレート=31,250bps) YAMAHA CBX Driver (Windows 95対応)をお使いの場合【PC-2】(ボーレート=38,400bps)
- IBM-PC/AT互換機: 【PC-2】(ボーレート=38,400bps)

ノート MDP-20XGの【TO HOST】端子を使用する場合は、最初に、MDP-20XGとコンピューターの電源を切った状態でケーブルを接続し、その後コンピューター MDP-20XGの順番で、電源を入れてください。

Windows 95をご使用のお客様へ (MIDIドライバーについて)

付属のYAMAHA CBX Driver ディスクには、コンピューターのシリアルポートとMDP-20XGの【TO HOST】端子を接続して、データのやり取りをするために必要なMIDIドライバーを収録しています。必要に応じて、ディスクからお持ちのパーソナルコンピューターにインストールしてお使いください。インストール方法はディスク中の下記テキストファイルをご覧ください。

Windows 95
A:¥cbx95j-¥readme.txt
A:¥cbx95j-¥License.txt

A:はディスクのディレクトリーです。

ノート MDP-20XGの【TO HOST】端子を使用しない場合は、必ず【TO HOST】端子からケーブルを抜いてください。ケーブルを接続したままだと、MDP-20XGが正常に動作しないことがあります。

ノート 画面に「」と表示された場合は、コンピューターの電源が切れているか、ケーブルが正しく接続されていない、または、HOST SELECTスイッチが正しく設定されていないか、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能していません。この場合は、いったんMDP-20XGとコンピューターの電源を切り、ケーブルの接続、HOST SELECTスイッチの設定を確認してください。その後、コンピューター-MDP-20XGの順番で電源を入れ直し、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能しているか確認してください。

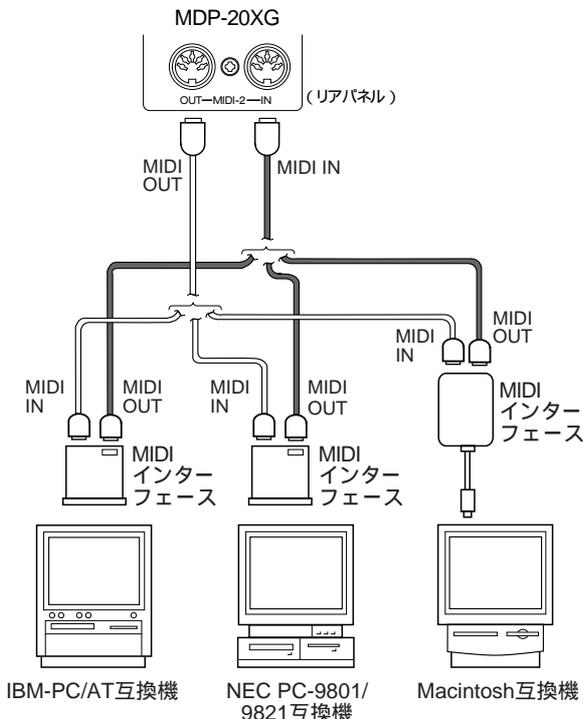
ノート 使用するソフトウェアの種類によって、上記の設定では動作しないものがあります。お使いになるソフトウェアの取扱説明書をよく読んで、適合するポートの位置にHOST SELECTスイッチを設定してください。

ノート HOST SELECTスイッチを【PC-2】【PC-1】【Mac】に設定しているときは、【TO HOST】端子が使えますが、MIDI-2【OUT】【IN】端子は使えません。(MIDIデータを送受信しません。)
逆に、HOST SELECTスイッチを【MIDI-2】に設定しているときは、MIDI-2【OUT】【IN】端子が使えますが、【TO HOST】端子は使えません。(MIDIデータを送受信しません。)

2. MDP-20XGのMIDI-2端子を使った接続方法

接続方法

MIDIインターフェース機器を通じてMDP-20XGのMIDI-2端子に接続します。専用のMIDIケーブルを使います。



MDP-20XGのHOST SELECTスイッチの設定

MDP-20XGのHOST SELECTスイッチを【MIDI-2】に設定します。

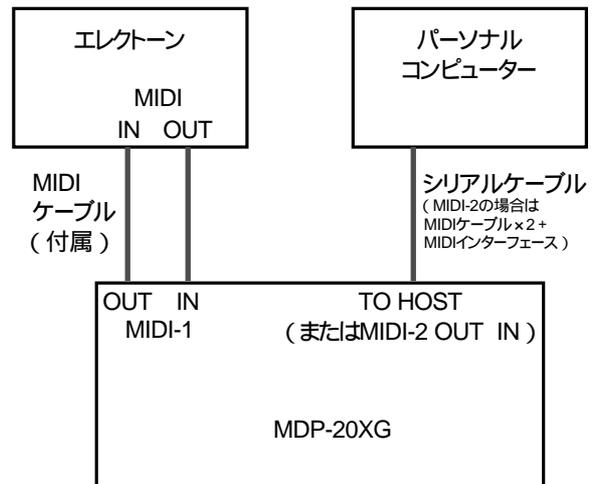
Macintoshはアップルコンピュータ株式会社の商標です。
PC-9801/9821は日本電気株式会社の商標です。
IBM-PC/ATは、国際ビジネスマシン株式会社の商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名及び商品名等は、各社の登録商標及び商標です。

エレクtoonとMDP-20XG、パーソナルコンピューターをMIDI接続する

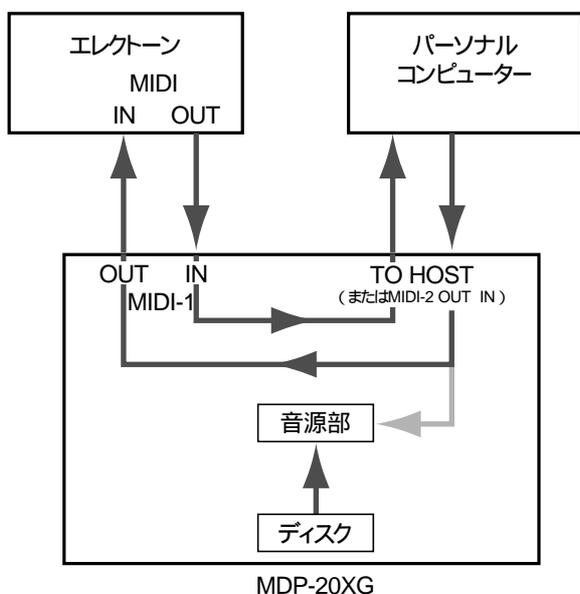
エレクtoonとMDP-20XG、パーソナルコンピューターをMIDI接続すると、下記のような使い方ができます。

- エレクtoonをマスターキーボード、MDP-20XGを音源、パーソナルコンピューターをシーケンサーとして使って音楽制作をする。
MDP-20XGに関するMIDIデータの詳細がご入用の方は、巻末のエレクtoonインフォメーションまでお申しつけくださいますようお願い申し上げます。
- 市販ソフトや自分で作成した音楽データを再生しながらエレクtoonを演奏したりするために、曲ごとのエレクtoonのレジストデータをあらかじめパーソナルコンピューターに保存しておき、演奏時すぐにレジストデータを読み込む。

接続方法



ミディ MIDIデータの流れ



上図の の流れ(【TO HOST】からエレクトーンへの流れ)と の流れ(【TO HOST】からMDP-20XGの音源部への流れ)は、状況によって下記のように異なります。

ディスクが差し込まれていないとき

ELモードの場合とそれ以外のモードの場合の2種類あります。

ELモードの場合:

- ・ (【TO HOST】からエレクトーンへ)は、1~4、15、16チャンネルのチャンネルメッセージと、リアルタイム/エクスクルーシブメッセージのデータが流れます。
- ・ (【TO HOST】からMDP-20XGの音源部へ)は、5~14チャンネルのチャンネルメッセージと、リアルタイム/エクスクルーシブメッセージのデータが流れます。(ただしチューニング中は流れません。)

ELモードになる条件

- ・ ディスクを抜いたとき
- ・ 【TO HOST】からELオンのメッセージを受信したとき

それ以外のモードの場合:

- ・ (【TO HOST】からエレクトーンへ)は、エクスクルーシブメッセージのデータだけが流れます。
- ・ (【TO HOST】からMDP-20XGの音源部へ)は、全データが流れます。(ただしチューニング中は流れません。)

それ以外のモードになる条件

- ・ 【TO HOST】からXGオン、GMオンなどのメッセージを受信したとき。

ディスクが差し込まれているとき

- ・ (【TO HOST】からエレクトーンへ)は、エクスクルーシブメッセージのデータだけが流れます。
- ・ (【TO HOST】からMDP-20XGの音源部へ)は、なくなります。(何のデータも流れません。)

MDP-20XGの音源モードは、ディスクや【TO HOST】からのXGオン、GMオンなどのメッセージによって切り替わります。

ディスクの再生データはMIDI送信されません。

(ただし、MDP-20XG専用ディスクソフト「エレクトーンア・ラ・モード with XG」やその他のエレクトーン専用ディスクソフトの場合は、1~4、15、16チャンネルのチャンネルメッセージ、ポリフォニックアフタータッチを除くと、エレクトーン専用のエクスクルーシブメッセージが、MIDI-1【OUT】からエレクトーンに送信されます。)

ノート ディスクが差し込まれているとき、【TO HOST】またはMIDI-2【IN】からFA/FCコマンドを受信すると、ディスクの再生が自動的にスタート/ストップします。MIDI-2端子にMDR-4を接続してMDR-4の再生をスタート/ストップしても、同様のことが起こります。不都合がある場合は、ディスクを抜いてください。

ノート パーソナルコンピュータのシーケンソフトの再生/録音をスタートしたとき、エレクトーンのリズムがスタートする場合があります。

エラーメッセージ一覧

操作中、ディスプレイにエラーメッセージが表示されることがあります。各メッセージの意味と対処法を説明します。

表示	意味と対処法
Er 1	フォーマット操作中で、差し込んだディスクのライトプロテクトタブが、書き込み禁止の位置になっていた場合に 表示されます。そのディスクを抜き、ライトプロテクトタブを書き込み可の位置にしてから (P8)フォーマット 操作をしてください。
Er 2	市販ソフトの中には、内部的に保護されていてフォーマットできないものがあります。そのようなディスクを フォーマットしようとしたときに表示されます。そのディスクは抜き、別のディスクを用意してフォーマットし直 してください。
Er 3	ディスクからデータを読み込み中に、データ上のエラーが発生したときに表示されます。もう一度操作し直 してください。それでもエラーが起こる場合は他のディスクでもエラーが起こるかどうか確認してください。他 のディスクでもエラーが起こる場合は、MDP-20XGのディスクドライブユニットの故障が考えられます。そ の場合はお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に修理をご依頼ください。 他のディスクではエラーが起こらない場合は、エラーが起こるディスクが壊れていることが考えられます。
Er 4	フォーマットの実行中にディスクが抜かれてしまった場合に表示されます。この場合、すでにそのディス クのデータは壊れています。またフォーマットもされていないままになります。もう一度フォーマットし直して ください。
Er 5	MDP-20XGのディスクドライブのヘッドが汚れてきていることを示しています。市販の「乾式ヘッドクリー ニングディスク」を使用してディスクヘッドを清掃してください。(P8)
Er 6	【TO HOST】またはMIDI-2【IN】からのMIDI入力データの量が多すぎて正しく再生できない場合に表 示されます。MIDI入力データの量を減らしてください。
Er 7	MDP-20XGをパーソナルコンピューターと接続してお使いの場合... コンピューターの電源が切れているか、ケーブルが正しく接続されていない、または、HOST SELECTス イッチが正しく設定されていないか、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能して いません。この場合は、いったんMDP-20XGとコンピューターの電源を切り、ケーブルの接続、HOST SELECTスイッチの設定を確認してください。その後、コンピューター MDP-20XGの順番で電源を入れ 直し、コンピューター側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能しているか確認してください。 MDP-20XGを単独でお使いの場合... MDP-20XGの【To Host】端子にケーブルが接続されたままになっていると、このメッセージが表示され ることがあります。この場合は、MDP-20XGの電源を切った上でケーブルを抜き、再度電源を入れてくださ い。ケーブルを接続したままだと、MDP-20XGが正常に動作しないことがあります。
---	曲データがまったく入っていないディスクが差し込まれたとき、または差し込まれていてディスプレイが【曲 番号】表示のときに、曲番号の代わりにこのメッセージが表示されます。 このディスクは抜き、曲データのあるディスクを用意してください。
unF	未フォーマットのディスクやMDP-20XGが対応していないフォーマットのディスクが差し込まれたとき、また は差し込まれていてディスプレイが【曲番号】表示のときに、曲番号の代わりにこのメッセージが表示され ます。 このディスクは使えませんが抜いてください。MDP-20XGでフォーマットする場合は改めてフォーマット 操作(P38)を行ってください。

故障かな? と思ったら

現象	考えられる原因	解答/解決法
MDP-20XGの電源が入らない。	電源アダプタープラグが差し込まれていません(本体側と家庭側)。	電源アダプタープラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください。(P10)
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	MDP-20XGの【音量】とエレクトーンのパリリュームが下がっています。	MDP-20XGの【音量】とエレクトーンのパリリュームを上げてください。(P10)
	すべてのトラックが再生OFF ^{オフ} になっています。	データが入っているトラック【1/上鍵盤】【2/下鍵盤】【3/ペダル】【オーケストラ】【リズム】の1つ~すべて ^{オン} の再生をONにしてください。(P31)
ボタンを押しても効かない。	再生準備中ランプ(ディスプレイの左下端のランプ)の点灯中にボタンが押されました。	このときはMDP-20XGが再生準備中で、次の操作スイッチを押しても効かないことがあります。(P24) このランプが消灯してから次の操作をしてください。
	その機能が使えない状態のときにボタンが押されました。	使用状態によって使えない機能があります。リファレンス編 各項目の欄外コラムの②マークの説明をご覧ください。
メトロノームやカウントイン、カウント音が聞こえない。	メトロノーム音量の設定が下がっています。	メトロノーム音量を上げてください。(P36)
曲番号がとびとびにしか選べない。	そのディスクの曲データのある番号がとびとびになっています。	異常ではありません。曲データのない番号はとばされて表示されます。(曲データのある番号だけ表示されます。)(P26)

①「エラーメッセージ一覧」(P43) 先ご参照ください。

付 録

ディスクソフトのご紹介や、必要に応じてご利用いただける資料を掲載しています。

MDP-20XGで再生できるディスクソフトについて

MDP-20XGで再生できる ディスクソフトの各種フォーマット

MDP-20XGは各種の代表的なフォーマットの曲データを再生することができますが、ここで、MDP-20XGで再生できる曲データの各種フォーマット(「ディスクのフォーマット」、「シーケンスフォーマット」、「音色配列フォーマット」)の一覧を掲載します。

市販のいろいろな種類のディスクソフトや、電子楽器などで録音した曲データ、パーソナルコンピューターなどで作成した曲データについても、下記のフォーマット(「ディスクのフォーマット」、「シーケンスフォーマット」、「音色配列フォーマット」)それぞれについて、掲載されている中の1つに該当する場合にはMDP-20XGで再生できます。

下記のフォーマットに該当しないディスクソフトや曲データは、再生できなかったり、正しく再生できなかったりします。

ディスクのフォーマット

エムエスドス キロバイト
MS-DOS 720KBフォーマットの2DDディスク
エムエスドス メガバイト
MS-DOS 1.44MBフォーマットの2HDディスク

ノ **ト** ディスクのフォーマットとは...
ディスクのデータ収納方式の種類です。

シーケンスフォーマット

エスエムエフ ミディ
SMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマット0、フォーマット1
(17チャンクまでのもの)

音色配列フォーマット

ジーエム
GMシステムレベル1
エックスジー
XG

これらの各シーケンスフォーマットと音色配列フォーマットについて簡単に説明します。

シーケンスフォーマット

曲データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットと言います。

エスエムエフ ミディ
SMF(スタンダードMIDIファイル)

市販の多くのディスクソフトで採用されている代表的なシーケンスフォーマットの1つです。

一般的なSMFには「フォーマット0(ゼロ)」と「フォーマット1」の2種類ありますが、MDP-20XGは、両方に対応しています。(フォーマット1の場合、17チャンクまでのものに対応しています。)

音色配列フォーマット

音色を指定する番号のつけ方の種類を音色配列フォーマットと言います。

ジーエム
GMシステムレベル1

市販の多くのディスクソフトが準拠している代表的な音色配列フォーマットです。

エックスジー
XG

「GMシステムレベル1」をさらに拡張し、豊かな表現力とデータの継続性を可能にしたヤマハの音源フォーマットの音色配列です。「XGソングデータライブラリー」として、XGに準拠した豊富な曲データが取り揃えられています。

MDP-20XGで再生できる主なヤマハ別売ディスクソフトのご紹介

パッケージソフト

「エレクトーン ア・ラ・モード with XG」^{ワイズ エクスジ-} (Vol.2以降)

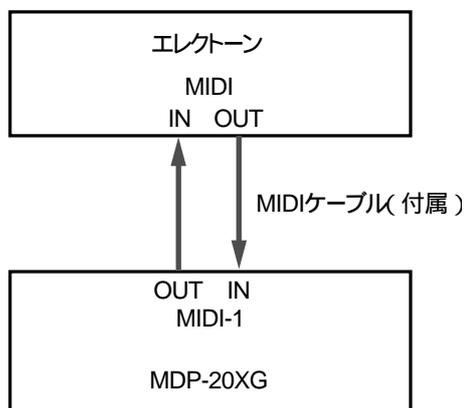
(Vol.1はEL-900専用曲集です。)

ファイルフォーマット:MDP-20XG専用

エレクトーン音色とXG音色の、サポート演奏データを収めたフロッピーディスク付きの楽譜集。

エレクトーンの豪華な演奏が楽しめます。

このディスクを再生する場合は、MDP-20XGとエレクトーンを下図のように^{ミディ}MIDI接続してください。



(発売:株ヤマハミュージックメディア)

「XGソングデータライブラリー」

ファイルフォーマット:^{エクスジ-レスエムエフ}XG/SMF

幅広いラインナップと高い表現力のXG音源対応ソフト。多彩なジャンルのソングデータが豊富に取り揃えられています。

コレクションシリーズ: TV&ムービー、ジャズ、クラシック、J-POP、Rock&Pops、World Music

アンサンブルシリーズ

(発売:ヤマハ株)

「楽器でうたおう」

ファイルフォーマット:^{エクスジ-レスエムエフ}XG/SMF

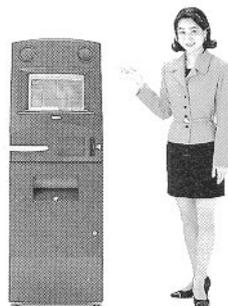
カラオケ感覚でどんな楽器でも気軽にアンサンブルが楽しめる、伴奏ミュージックデータ付き楽譜集。

(発売:株ヤマハミュージックメディア)

Mumaソフト

^{ミューマ}Mumaとは、ヤマハ独自の音楽データ店頭販売システムです。

店頭を設置されている^{ミューマ}Mumaで、音楽データを、アルバム単位または自由選曲方式でお選びいただき、専用フロッピーディスクに収録してご購入いただけます。豊富な音楽データが取り揃えられています。



PCカラオケシリーズ「歌楽」

カラオケ用のソフト。

歌謡曲、演歌からお子様向けのナンバーまでご用意しています。(歌詞カードは付いていません。)

上記およびその他のディスクソフトについて詳しくは、ソフトカタログをご覧ください。

- ・ ヤマハのディスクソフトのほかにも、上記(P45)で説明したフォーマットに該当する、市販の多くのソフトがご利用いただけます。

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks		
Basic Channel Default Changed	x x	1 - 16 1 - 16			
Mode Default Messages Altered	x x *****	3 3, 4(m = 1) x	*2		
Note Number : True voice	x *****	0 - 127 0 - 127			
Velocity Note ON Note OFF	x x	o 9nH, v=1-127 x			
After Touch Key's Ch's	x x	o o	*1 *1		
Pitch Bender x	o 0-24 semi	*1			
Control Change	0, 32 1, 5, 7, 10, 11 6, 38 64 - 67 71 - 74 84 91, 93, 94 96 - 97 98 - 99 100 - 101 120 121	x x x x x x x x o x x o x x	o o o o o o o o o o o o o o o	*1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1 *1	Bank Select Data Entry Sound Controller Portamento Cntrl Effect Depth RPN Inc,Dec NRPN LSB,MSB RPN LSB,MSB All Sound Off Reset All Cntrls
Prog Change : True #	x *****	o 0 - 127			
System Exclusive	x	o			
System : Song Pos. Common : Song Sel. : Tune	x x x	x x x			
System :Clock Real Time :Commands	x x	x x			
Aux :Local ON/OFF Mes- :All Notes OFF sages :Active Sense :Reset	x x o x	x o (123-127) o x			
Notes: *1 ; receive if switch is on. *2 ; m is always treated as "1" regardless of its value.					

Mode 1 : OMNI ON, POLY
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO
 Mode 4 : OMNI OFF, MONO

o : Yes
 x : No

仕様

音源 AWM音源759音色(737音色+22ドラムセット)
(最大同時発音数 32)

再生対応フォーマット

ディスクのフォーマット
エムエスドス キロバイト
MS-DOS 720KBフォーマットの2DDディスク
エムエスドス メガバイト
MS-DOS 1.44MBフォーマットの2HDディスク

シーケンスフォーマット
エスエムエフ ミディ
SMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマット0、
フォーマット1

イーシーク
ESEQ

音色配列フォーマット
ジーエム
GMシステムレベル1
エックスジー
XG
ディーオーシー
DOC

操作子

【音量】
【曲番号】
【テンポ】
【チューニング】
【移調】
設定【-/NO】+/YES】
【1/上鍵盤】
【2/下鍵盤】
【3/ペダル】
【オーケストラ】
【リズム】
【メトロノーム】
【カウントイン】
【一時停止】
【停止】
【再生】
【巻戻し】
【早送り】
【繰り返し】
【A】
【B】
【マーク取り消し】
【電源】

ディスプレイ LEDディスプレイ(7セグメント3桁)

ディスクドライブ

3.5インチ マイクロ フロッピー ディスクドライブ
(2DD、2HD対応)

付属端子

ディーシーイン12ボルト
【DC IN 12V】
アウト
AUX OUT【R】【L】出力インピーダンス 600 Ω
ミディ アウト イン
MIDI-1【OUT】【IN】
ホスト セレクト
HOST SELECT
トゥー ホスト
【TO HOST】
ミディ アウト イン
MIDI-2【OUT】【IN】

電源

電源アダプター PA-5C

消費電力

7W

寸法(間口×奥行×高さ)

135mm×210mm×65mm

重量

1.3kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

- ・ MDP-20XG取扱説明書の全体の流れを見たい場合は、P7「目次」をご覧ください。
- ・ ボタンなどの操作子の名前から説明を捜したい場合は、P20「各部の名前」をご利用ください。
そのほかのキーワードから説明を捜したい場合に、この「索引」をご利用ください。
- ・ 「*」印はそのページの「欄外のコラム」に説明があることを示しています。

ABC順		あいうえお順	
	ページ		ページ
⇨の意味	6	アンサンブル演奏	14, 31
➡の意味	6	イジェクトボタン	8
オール ALL	26	エラーメッセージ	43
ディスク DOC	45	エレクトーン ア・ラ・モード with XG	46
イシュー ESEQ	45	音色配列フォーマット	45
ジーエム GM	45	音量調節	10
Hz (ヘルツ)	29*	カウント音	32*, 33*
MDP-20XGデモンストレーション ディスク	4	楽器でうたおう	46
MDP-20XGデモンストレーション ディスクの曲目リスト	11	カラオケ	18
Muma	46	歌楽	46
ランダム RND	26	乾式ヘッドクリーニングディスク	8
エスエムエフ SMF	45	記憶	24
エックスジー XG	45	基準音	29
エックスジー XGソングデータライブラリー	46	基準音の音程を変更	30
YAMAHA CBX Driver ディスク	40	基本設定	24
		繰り返し再生	16, 33
		繰り返し再生(1曲全体)	26*
		繰り返し練習	16, 33
		工場出荷時の設定	24
		再生	12, 25
		再生準備中ランプ	24
		シーケンスフォーマット	45
		ジャンプ	32
		仕様	48
		スタンダードMIDIファイル	45
		設定の記憶	24
		ディスクソフト	45
		ディスクドライブユニット	8
		ディスクのフォーマット	38, 45
		ディスプレイ	22
		ディスプレイの切り替え	23
		ディスプレイの見方	22
		デモンストレーションディスク	4
		デモンストレーションディスクの 曲目リスト	11
		電源	10
		電源アダプター	9, 10
		トラック	31
		ページ	
		パーソナルコンピューター	39, 40
		パート練習	31
		ピアノアンサンブル	46
		拍子ランプ	28
		フォーマット	38, 45
		付属品	4
		フロッピーディスク	8
		マーク	32, 33
		ミュージアム	46
		メトロノームの拍子	36
		メトロノーム音量	36
		メロディパート(メインパート)を 自分で演奏	14, 31
		ライトプロテクトタブ	8
		連続再生	26
		連続再生(選んだ曲からスタート)	26*

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、フロッピーディスクドライブなど

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50	ヤマハセンター内	TEL.(011)512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7	仙台卸商共同配送センター3F	TEL.(022)236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184		TEL.(044)434-3100
東京サービスステーション*	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11		TEL.(03)5488-6625
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL.(053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL.(052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL.(06)877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7	(株)ヤマハミュージック神戸高松店内	TEL.(087)822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14		TEL.(082)874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4		TEL.(092)472-2134
[本社]				
カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL.(053)465-1158

住所および電話番号は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

北海道支店 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター
営業推進課 TEL 011(512)1550

仙台支店 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル
営業推進課 TEL 022(222)6025

東京支店 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
エレクトーン推進グループ TEL03(5488)5463

関東支店 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
営業推進課 TEL 03(5488)1680

名古屋支店 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
営業推進室 TEL 052(201)5140

大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館
営業推進グループ TEL 06(252)2390

広島支店 〒730-8628 広島市中区紙屋町1-1-18
営業推進課 TEL 082(244)3748

九州支店 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
営業推進課 TEL 092(472)2152

国内楽器営業本部 〒430-8650 浜松市中沢町10-1
エレクトーン営業部 TEL 053(460)2191

住所および電話番号は変更になる場合があります。

エレクトーンに関するあらゆる質問にお答えします。

エレクトーンインフォメーション

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00

フリー
ダイヤル



0120-186-808